

令和 2 年度

社会福祉法人あゆみの会

事業計画書

社会福祉法人あゆみの会

1. 令和二年度の計画について

(1) 保育所保育指針に基づく環境を通じた質の高い保育を実践

子どもたちとともに、自ら身体を動かしたくなる環境、好奇心やワクワクがたくさんある環境、大きな子、小さな子、地域の方、人と豊かに関わる環境を創ります。

保育目標

- ① 身体を使うのが大好きな子
- ② 頭を使うのが大好きな子
- ③ 人と関わるのが大好きな子

保育内容

- ① 室内・室外環境の整備（ワークショップ）、園外活動（園バス）
- ② 地域・保護者交流の拡大、地域コミュニティセンターとの関係強化
- ③ より制限的でない時間・空間の確立

食事時間に幅を持たせる

3歳以上は午睡を本人の選択制とする

時間・空間の移動について制限を極力少なくする（配置の研修）

- ④ 保育は科学（専門的な知見を取り入れる）

チャイルドケアアップによる発達支援、各種アドバイザーを導入

(2) 地域の福祉・子育て支援

本年度2園が新規開園し、法人施設は認可保育所4園、企業主導型保育所1園の計5園となりました。5つの園は川越市・ふじみ野市で比較的近接したエリアに所在しています。また、各園にはひろばや交流スペースを設けています。これら地理的な特性や園の資源を活かし、5園が連携し地域の子育て支援・福祉の向上を図っていきます。

(3) 学識経験者等、外部の知見を取り入れます。

大学や養成校の教員、発達臨床心理士や建築、医学関係者など、専門家を講師やアドバイザーに任用し、保育の質の向上を図ります。また本年度はコロナウイルスの感染防止のため、オンライン研修なども導入します。

(4) 安全・衛生体制の強化

コロナウイルスの感染拡大防止のため、登園方法の改善、消毒体制を整備する。

ウィルス感染時、濃厚接触者になった場合等のフローチャートを整備し、行政機関と連携を図ります。

安全点検リストとともに、一人ひとりが常に周囲に気を配れるよう、気が付いたことを共有できる確認ボードを導入します。

(5) 運営体制（すまいる委員会）

令和二年度の体制：保育の質を向上するため、すまいる委員会各部会を充実します。

| 部会名 | 運営委員会 | 委員会の役割 |
|---------|-----------|--|
| 保育部会 | にこにこ委員会 | すまいる保育ガイドラインの作成 保育所保育指針・各種評価スケール等に基づくすまいる保育ガイドライン（保育環境・保育者の関わり方、その他ルール等）を作成 |
| | わくわく委員会 | すまいる保育ガイドラインの作成 保育所保育指針・各種評価スケール等に基づくすまいる保育ガイドライン（保育環境・保育者の関わり方、その他ルール等）を作成 |
| 研修部会 | 研修計画策定委員会 | すまいる研修ガイドラインの作成・運用・見直し コロナウイルスに伴う研修計画の見直し（オンライン研修等の調査） |
| | 自己評価策定委員会 | すまいる保育者自己評価ガイドラインの作成 厚労省自己評価ガイドラインに基づく「すまいる保育者ガイドライン」の作成 |
| 安全部会 | 安全委員会 | すまいる安全ガイドラインの作成・運用・見直し 気付きボード・いのちのリスト・ひやりはっとの実行 ひやりはっと・事故等の情報を全園で共有 |
| | 看護委員会 | すまいる衛生ガイドラインの作成・運用・見直し コロナウイルス対策（園児・職員・保護者への衛生指導）等 |
| 食育部会 | 保育食育委員会 | すまいる食育ガイドラインの作成・運用・見直し 保育計画に基づく食育計画（例：食を通じ環境、世界への関心を高める等） |
| | 栄養・調理委員会 | すまいる調理ガイドラインの作成・運用・見直し 厨房業務（保育士との連携） 食材発注、調理等のすまいる厨房ガイドライン |
| 保護者地域部会 | 保護者委員会 | すまいる保護者支援ガイドラインの作成・見直し 保護者への情報発信の年間計画（SNS、HP等の充実） |
| | 地域委員会 | すまいる地域支援・広報ガイドラインの作成・見直し 地域への情報発信の年間計画（SNS、HP等の充実） |
| 総務部会 | 保育環境委員会 | すまいる保育ガイドラインの実行状況の確認 |
| | 内部監査 | 埼玉県の自主点検表に基づく内部監査の準備 川越市の自主点検表に基づく内部監査の準備 |
| | 事務会議 | 事務ガイドラインの作成 年間計画の策定 本部体制（人事・経理・総務）体制 事務の合理化（情報共有・保護者集金・出勤簿） |

2020年度全体的な計画

| 保育指針のポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針のポイント2 養護と教育の一体的展開 | |
|---|-------|--|--|--|--|
| 保育理念 | | 自分のことが出来る子 自分のことが出来る子 | | | |
| 保育方針 | | 1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う | | | |
| すまいる保育園の目標 | | 自立心を育む(体を動かすことが大好きな子・頭を使ふことが大好きな子・人と関わることが大好きな子) | | | |
| 平成31年度の保育テーマ | | 自然に驚き、自然に学び、自然に感謝する | | | |
| 家族の状況及び保護者への支援 | | 地域の実態との関わり | | | |
| 連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ、CCW/園により保育園へHP行事への参加・招待、姉妹園交、中学生社会体験老人福祉施設交流、卒園児招待、他園交流 | | 環境設定 小学校との連携 | | 主な行事 入園式 泥んこまつり 夕涼み会 ハロウィン ウィンターフェスタ 卒園式 | |
| 衛生・健康 | | 安全対策 | | 職員の資質向上 | |
| 内科検診(2回)歯科健診(1回) 害虫駆除、歯磨き指導、手洗指導 清掃、消毒 | | 毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回)引渡し訓練 普通救命救急講習、SIDS対応、不審者対応 いのちのリスト、マニュアルガイドスの活用 | | すまいる委員会・ワーキングチーム、トニーの日、子ども觀察、CCW、 クオーレの日、園内研修、園外研修GT、臨床育児保育研究会、 キャリアアップ研修、加藤繁美氏勉強会 自己評価制度 | |
| 保育の目標・内容 | | 育みたい資質・能力の3つの柱 | | 1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力 | |
| 養護 | 保育目標 | 0歳児前半 | 0歳児後半 | 1歳児 | 2歳児 |
| | 生命の保持 | ・授乳、睡眠、排泄など心地よく感じられるように、保育する。生理的欲求を十分満たす。 | ・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする。 ・必要な生活習慣を身につける。そのための行動を通じて自分でのみ見守りながら援助をする。 | ・健康的で安全な生活に生活できるようにする。 ・健常で安全な生徒に必要な習慣が身につくように見守り日々に心じめ、援助をする。 | ・健康的で安全な生活に必要な習慣に心じめ、自ら出来ることでの喜びを感じられるように援助する。 |
| | 情緒の安定 | ・相続を合わせ柔軟性 ・安心感など体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。 ・心地よく安心できる関心を持つていく。 | ・言葉にこなれない行動の意味や気持ちはどのように理解し、安らぎを取りする。自分の気持ちを尊重して自分の気持ちを尊重する。 | ・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自分の育ちを援助する。 | ・一人一人の子どもが主体的に活動するように援助する。 |
| | 健 康 | 心身の発達 ・健康な心と体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。 ・心地よく安心感など体を育てる。 ・十分に睡眠をとる。 | ・簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びの中で、自分から身の回りの事を自分からしめようとする。 ・全身を動かしながら、様々な道具や用具や道具を使つた遊びを楽しむ。 ・十分に体を動かしながら、様々な道具や用具で工夫して遊ぶ。 ・安全な生活に必要な習慣や態度に心じめ、自分でのみ見守り日々に心じめ、自分への自信が持てるようになります。 | ・十分に体を動かしながら、様々な道具や用具で工夫して遊ぶ。 ・安全な生活に必要な習慣や態度に心じめ、自分でのみ見守り日々に心じめ、自分への自信が持てるようになります。 | ・全身を使ないうがら、様々な道具や用具で工夫して遊ぶ。 ・安全な生活に必要な習慣や態度に心じめ、自分でのみ見守り日々に心じめ、自分への自信が持てるようになります。 |
| | 人間関係 | 社会的発達 ・身に寄り添う力の基礎を培う。 ・体の動き、表情、発声による気持ちはどうする。 ・生活や遊びの中、保育者や友達など身近な人にどのように気付く。 | ・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して遊んでいく。 ・友達との遊びを楽しむ中で、簡単なルールを守つて遊ぼうとする。 | ・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、開け放題する中で自分の思いを伝えようとして、相手の思いに気付く。 ・友達と一緒に過ごす楽しさを共有し協力しながら開け放題する。 | ・お互いにいい不安や苦難を経験する中で自分の思いを伝えようとして、相手の思いに気付く。 ・友達と一緒に過ごす楽しさや態度を身に付けて遊んで遊ぼう。 |
| | 言 葉 | 精神的発達 ・身の回りのものに親しみ、愛情、発声により気持ちはどうする。 ・生活や遊びの中、保育者や友達など身近な人にどのように気付く。 | ・言葉への興味や関心を持ち、身の回りの物語や物語を楽しむ。 ・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自ら簡単な言葉を使おうとする。 | ・経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとすること。 ・生活や遊びに必要な言葉が分からず、使おうとする。 | ・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いていたりして、相手の話を聞くことを楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを通じて、ストーリーや言葉の面白さに気付く。 |
| 教育 | 環境 | ・身近な自然や事象に興味や関心を持ち、親しみを持つ自分から関わること。 | ・身近な自然や事象に興味を持ち、関心を持ち、親しみを持つ自分から関わること。 | ・自然や身近な事物に興味を持ち、心を広げて遊ぶ。 | ・様々な事象や自然に主体的に関わることにより、発見したりしながら、工夫して遊び、試したりして楽しむ。 |
| | 表現 | ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味を持ち、関心を持つ。 | ・身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち、分けたり集めたりする。 | ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、作ったりする。手作り、動きなどに気付いたり、自分で表現したりする。 | ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、作ったりする。手作り、動きなどに気付いたり、自分で表現したりする。 |
| | 食育 | ・生活の中で、様々な音や色や形を身に持つ。身に持つことによって、身近な環境から離れる。 | ・生活の中で、様々な事象や出来事を通して、身に持つことによって、身近な環境から離れる。 | ・生活の中で、様々な事象や出来事を通して、身に持つことによって、身近な環境から離れる。 | ・食べ物や栄養に関して興味を持つ。 |

2020年度 年間保育計画(乳児)

| 園長 | 主任 | 副主任 | 担当 |
|--|---|--|---|
| 保育指針ポイント1 環境を通して行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育指針ポイント2 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | 保育のテーマ 自然に驚き、自然に学び、自然に感謝する | 養護と教育の一体的展開 |
| すまいる保育園の目標 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子) | | | |
| 保育の目標・内容 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育のねらい 健やかに伸び伸び育つ | 身近な人と気持ちが通じ合う 保育者に手を伸ばす 体の動きや表情、声や暗語で動き かける | 身近なものと関わる感性が育つ 様々な物に手を伸ばす 花(桜・菜の花)、匂い、生き物 砂、泥、オーガンジー |
| 4月 新しい環境に慣れる 保育者に抱かれたり、話しかけてもらったりして心地よく過ごす | たっぷり寝て、たっぷり飲む はう、立つ、歩くなど十分に体を動かす | | 食事の移行や発達 について知らせる |
| 5月 様々なものに興味を持つて見つめたり掴んだりする | 外気浴をする 探索活動をする | | 歌や手遊びに合わせて体を揺らす 転がる玩具や音の出る玩具で遊ぶ 砂、泥、米ぬか、寒天(感触遊び) |
| 6月 浴浴をし、気持ち良さを味わう 少しずつ水に慣れ親しまず | 外気浴をする 探索活動をする 水に触れる | | 雨の音、カエルの声 ザリガニ、オタマジャクション 砂、泥、水、水(感触遊び) |
| 7月 段差を登ったり、全身を使った遊びを楽しむ 水遊びを楽しむ | つかまり立ち、伝い歩き マット・階段・坂道などに挑戦する 水に触れる | | セミの声、虫 花(ハス、ひまわり) |
| 8月 | | | |
| 9月 | | | |
| 10月 | | | |
| 11月 | | | |
| 12月 | | | |
| 1月 | | | |
| 2月 | | | |
| 3月 | | | |

2020年度 年間保育計画（3歳未満児）

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | | | |
|-----------------------|--|---|------------------------------------|-------------------------------|--|--|----------------------------------|--|--|
| 保育目標・内容 | 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育のテーマ | 自然に驚き 自然に学び 自然に感謝する | | | | |
| 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | すまいる保育園の目標 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使いうことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子) | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | | | | | |
| | 保育のねらい | 健 康 | 人間関係 | 環 境 | 言 語 | 表 現 | 10の姿 | | |
| 4月 | ・新しい環境に慣れて落ち着いて過ごす ・保育士に頼み、安心して生活をする | 歩く・走る 慢熱 身の周りの事を自分で行おうとする (清潔・排泄・着脱など) | 友達と手を繋ぐ 保育者との信頼 関係を築く | 桜葉の花つくし 泥土虫探し(ダンコムシ・ントウムシ) | 花 友達の名前 接拶をする 絵本、紙芝居 ごっこ遊び | 運動公園…桜(4月頃)ドングリ(10月頃)、落ち葉(12月頃) | 慣れ保育(新入園) 慣れ入園式 どろんこ祭り | | |
| 5月 | ・保育士に見守られながら、好きな遊びを楽しむ ・散歩や戸外遊びを楽しむ中で、草花や虫に触れたり音の耳に親しむ | 異年齢 同年代の 子と関わる わくわくとの交流 | 水遊び おたまじやくし | 虫の名前 子どもの日のお話 | こいのぼり 初夏の風 | 神社…りゅうの美、 木の実(11月頃) 触れ合いセンター… 桜(4月頃)、ドングリ (10月頃) | 健康な心と体 自立心 | | |
| 6月 | ・梅雨の時期を快適に過ごしながら、季節の自然に興味や 網ですぐく (手の動き) | カエルの声 サリガニ 水 消防車 | 果物の匂い カエルの鳴き声 | 雨の感触 雨音 色水 | 七夕飾り ボディペインティン グ | 木道…蓮(7月頃) 木道の下(11月頃) 農道…づくし、ダンゴムシ、テントウムシ(4月頃)、オタマジャクシ(5月頃)カエル、ザリガニ(6月頃)、トンボ(8月頃)、トナゲ(10月頃)、バッタ(8月頃)、アヒル(1月頃)、雪、水、霜(1月頃)、タンポポ(1月頃)、オナモミ、大豆(1月頃)、オオイヌノフグイ(3月頃) | 健康な心と体 自立心 | | |
| 7月 | ・保育士やお友達と関わらないながら夏の遊びを十分に楽しむ ・土や水、砂に触れながら全身を使って夏の遊びを楽しむ | サリガニ釣り ダンス(盆踊り) リズム | 虫の声 ひまわり サリガニの世話 | 虫の声 セタのお話 | 七夕の風 | タ涼み会 セタ涼み会(流しそうめん) | 協同性 道徳性・規範意識の芽生え | | |
| 8月 | ・適切な休息を取りながら、暑い時期を健康で快適に過ごす ・歩く、走る、跳ぶなど、全身を動かすことを楽しむ | トンホ・ハツタ ビニールプール遊び | 虫の声 ピーナッツ | 暑い 冷たい | 水の氣持ちはさ 野菜スタンプ | 思考力の芽生え | 社会生活との関わり | | |
| 9月 | ・簡単な仕事や言葉で自分の思いを伝えようとする ・歩く、走る、跳ぶなど、全身を動かすことを楽しむ | サーキット (全身を使った動き) | コスマス 虫の声 月 トンボ・バッタ・ コオロギ・カエル | ダンス 水 秋の風 | 水・遊・片栗粉・ タンポ 蜜芋 | お菓子をもらう 川越の芋 | 自然との関わり・生命尊重 数量、图形、文字等への関心、感覚 | | |
| 10月 | ・行事を通して地域の方との交流を深める ・散歩先や農道で秋の自然物に親しむ | ちぎる 貼る 芋を掘る | 地域の方との交流 野菜の種 | 野菜の種 果物の 野菜の種 | 米ぬか ハロ윈の製作 かぼちゃスタンプ | ハロウイン 引き取り訓練 | 豊かな感性と表現 | | |
| 11月 | ・身近な素材や秋の自然物を使って自分なりの表現(製作等)を楽しむ | 投げ入れる、捨てる ダンス | オアモミー りゆうの実 どんぐり ヤンダングサ 大 | どんぐり お芋 | 花烟…葉の花(4月頃)、アジサイ、ザリガニ(6月頃)、ひまわり(7月頃)、コスモス(9月頃) | 一緒に焼き芋 焼き芋 | 言葉による伝え合い | | |
| 12月 | ・保育士やお友達と簡単な言葉の模倣、やりとりを楽しむ ・簡単な身の周りのことを自分でしようとする | 餅をつく 走る | | クリスマスのお話 歌絵本 | 火・木の実の形・ 大きさ・色 ダンス 餅をつく (感触・変化) | 一緒に餅つき をする | 自然との関わり・生命尊重 数量、图形、文字等への関心、感覚 | | |
| 1月 | ・雪遊びや冬ならではの遊びを楽しむ | 大根を掘る | | 雪、氷、霜 冬の伊佐沼 | 冷たい 寒い 餅 | 田んぼ…泥んこ(4月) オタマジャクシ(5月) カエル、稻(6月) 山(7月) 田んぼ | 自然との関わり・生命尊重 数量、图形、文字等への関心、感覚 | | |
| 2月 | ・寒い季節を元気に過ごす | 豆(新聞紙を投げる シャンプをする) | 恵方巻 イワシ・冬 | 鬼は外 筋分のお話 | 鬼の製作 ひな祭りの製作 | 伊佐沼…櫻(4月) 山(7月) 山(11月) 山(12月) 山(1月) | 道徳性・規範意識の芽生え | | |
| 3月 | ・進級に喜びや期待をもつて過ごす ・冒立て遊びを楽しむ のやりとりを楽しむ | 登る・渡る お別れ会 | たんぽぽ・オオイヌノフグリ おひなさま | ひなまつりのお話 | 寒さと温かさ | ひな祭り 卒園式 | 自然との関わり・生命尊重 数量、图形、文字等への関心、感覚 | | |

2020年度保育計画

(3~5歳児)

| 園長 | 主任 | 副主任 | 副担当 | |
|--|--|--|---|--|
| 保育指針ポイント1 保育理念 | 環境を通じて行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | | |
| 保育方針 すまいる保育園の目標 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 自立心を育む(体を動かすことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人と関わることが大好きな子) | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | |
| 保育のねらい | 健 康 | 人間関係 | 主な行事 | |
| 4月 ・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付けていく。 ・体を動かしながら、道具や用具で工夫して遊ぶふにとを楽しむ。 | 安全ハトロール 泥んこまつりで近隣の保育園のお友達と遊ぶお仕事(そうじなど) | 相手に分かるように伝えるお仕事(昼食の歌) 泥んこ祭りに近隣の保健園を呼ぶ 泥んこ祭り泥んこ祭りお花見 | 保護者者の不安な気持ちを受け止める | |
| 5月 ・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付けていく。 ・お友だちと言葉で思いを伝え合う。 | 安全ハトロール 農道マラソン 共同の遊具や用具を使う | 季節の歌 火鉢一 おたまじやくし 花・花瓶 花・花瓶 文字(自分の名前) | 泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭りお花見 | |
| 6月 ・友だちとの関わりの中でルールがあることに気付き、意欲的に遊ぶ。 ・身近な自然の感覚や変化に気付く。 | 手洗い 衣服調整 ダンスで身体を動かす (新曲) | 梅雨(雨) カエル 伊佐沼の水の量 姉妹園との交流 気温の変化 セミ 地城の人々と関わる 地城へ手紙を送る | 接觸 文字(自分の名前) 看護師の話を聞く 音や音楽 雨の音 夕涼み会の挨拶 セミ お店屋さん 虫探し かき氷ショップ 虫探し | 泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り 泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り 泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り泥んこ祭り |
| 7月 ・日常生活の中で地域社会の様々な文化や行事に触れ、地域へ親しみを持つ。 | 運動公園(土手・道具) | 夕涼み会 自然の変化 セミ 地城へ手紙を送る | 上福岡の祭りの制作物 ダンス | タ涼み会に招待する |
| 8月 ・水遊びの安全な遊び方に気をつかながら、自分の身体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 | サーキット 祖母、祖父母との交流 他園のお友達との交流 | 夕涼み会の音 虫探し 生き物(バッタ) ザリガニ釣り 竹の玉子祭 川越祭り きの二・喜生ノコ | お店屋さん 招待の手紙 招待の手紙(塗り絵) | 夕涼み会に招待する |
| 9月 ・身近な人と親しみ、関わりを深めるとともに、地域の人々などを通じて楽しむ。 | 林での遊び方 姉妹の土方 | 自然の変化 生き物(バッタ) ザリガニ釣り 虫探し なんでも会議 | 敬老の日の手紙 ダンス | 敬老の日 夕涼み会に招待する |
| 10月 ・様々な事象の音、色、形などに興味を持ち、気付いたり感じたりして楽しむ。 | お仕事 お手伝い 衣装調整 | 他園のお友達との交流 虫などの生物の産卵 虫探し 相談、役割分担 | 総合防災訓練 自然の器樂 生き物・花のお世話 プロック | 夕涼み会に招待する |
| 11月 ・目標を持って挑戦したり、諦めずにやり通すことで達成感を味わう。 | 大探険 戸外遊び | 卡通の遊び場 地域との関わり 自然の変化 コマの回し方 カルタの文字 福引き | ダンス 年賀状を書く 年賀状の接觸 伝承遊びを教えてもらう 自然物制作 | ハロウイン ハロウイン 総合防災訓練 川越祭り 七五三 |
| 12月 ・色々な素材に親しみながら、描いたり作ったりすることを工夫して遊んでいく。 | 伝承遊び 雪遊び 水づくり | 地域との関わり 自然の変化 コマの回し方 カルタの文字 福引き 豆まさき 轟方巻 火起こし | 年賀状のお願い 年賀状 年賀状 伝承遊びを教えてもらう 自然物制作 | お世話をした方に、年賀状を送る 川越祭り 年賀状 |
| 1月 ・季節により、天気や気温、生活中に変化があることに気付く。 | | 日常の接觸 伝承遊び 物語(筋分) | 就学に向けて手紙 お別れ遠足手紙 | お正月 |
| 2月 ・友達と楽しく生活する中で、共通の目的を見出し、工夫したりする。 | 健康について考える 卒園制作 | 友だちとオニを退治する 豆まさき 轟方巻 火起こし | 節分制作 おままでこ | 節分に誘う お別れ遠足に行く お別れ遠足 |
| 3月 ・色々な遊びを楽しみながら、物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。 | 自己の存在感や充実感 を味わう 植物を育てる | 友達、地域との関わり 様々な素材で制作 | 感謝の気持ちを持つ ダンス プレゼント制作 | 一年間のお礼の手紙 卒園式手紙 |
| 10の姿 | | | | 他の生活にかかる施設(生き物の命大切には嘔吐物類に触れることが大切) 姉妹園との交流(月1回程度) *鶴田駅より公共交通機関を利用した活動も行う |
| その他の | | | | バスを使用する活動…動物がいる施設(生き物の命大切には嘔吐物類に触れることが大切) 姉妹園との交流(月1回程度) *鶴田駅より公共交通機関を利用した活動も行う |
| 養護と教育の一体的展開 | | | | 自然に驚き、自然に学び、自然に感謝する |
| 保護者支援 | | | | 自然と触れることによる伝元い、豊かな感性と表現 |

2020年度 伊佐沼すまいる保育園 年間安全計画 * 保健計画と重なっている内容もあります

| 月 | 安全関係行事 | 子どもへの働きかけ | 園内・園外研修 職員周知 | 環境 | 分科会・WT |
|-----|--------------------------------|---|---|---|----------------------|
| 4月 | ・避難訓練 | ・安全パトロール ・地震・火事が起につたら ・野外調理の安全 ・毒のある植物、生き物 | ・SIDS ・誤飲・誤嚥 ・アレルギー・既往歴の確認 ・植物の危険 ・にこちゃんマニュアルの確認 | ・命のリスト(毎日) ・ヒヤリハット集計(月1) ・安全意識チェック(月1) ・SIDS強化 ・嘔吐処理備品確認 ・散歩先の安全確認 | W: 2日(木) 分: 7(火) |
| 5月 | ・警察による不審者対応訓練 | ・熱中症の危険 ・水遊びのルール | ・熱中症について ・虫などの危険 ・蚊(Dengue熱など)・毛虫など ・子ども見守り方(道具など) ・普通救命講習 | ・災害伝言ダイヤル ・確認呼びかけ (1日・15日) | W: 7日(木) 分: 12(火) |
| 6月 | ・総合防災訓練 ・引き取り訓練 ・普通常救命講習 | ・園外活動での蚊 ・虫対策(衣服の安全) | ・蜂の事故について ・水の事故について | | W: 1日(月) 分: 9(火) |
| 7月 | ・避難訓練(キッズリー、メール) | | ・電巻について ・すまいるカード確認強化 | | W: 1日(水) 分: 7(火) |
| 8月 | ・避難訓練 | ・野外調理の安全 | | | W: 3日(月) 分: 18(火) |
| 9月 | ・不審者対応訓練 | ・慣れない場所での安全 | ・すまいるカード確認強化 | | W: 1(火) 分: 8(日) |
| 10月 | ・総合防災訓練 ・引き取り訓練 | ・野外調理の安全 | ・大規模災害時のマニュアルの確認・周知 | ・非常食、非常用品確認 | W: 1日(木) 分: 6(火) |
| 11月 | ・避難訓練 | ・衣服の安全・調節 ・冬ならではの危険 | ・感染症について ・インフルエンザ ・嘔吐処理 | ・嘔吐処理備品確認 ・SIDS強化 ・加湿器の管理 | W: 2日(月) 分: 10(火) |
| 12月 | ・避難訓練 | ・野外調理の安全 | ・凍結防止のやり方 ・すまいるカード確認強化 | ・凍結防止 | W: 1日(火) 分: 8(日) |
| 1月 | ・避難訓練 | | | | W: 5日(火) 分: 12(日) |
| 2月 | ・避難訓練 | | ・すまいるカード確認強化 | | W: 3日(水) 分: 8(日) |
| 3月 | ・避難訓練 | | | | W: 2日(火) 分: 9(日) |

2020年度 食育計画(1, 2歳児)

| 園長 | 主任 | 副主任 | 担当 |
|---|--|--|---|
| 保育指針ポイント1 保育理念 | 環境を通して行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育指針ポイント2 保育のテーマ | 養護と教育の一体的展開 自然に響き 自然に学び 自然に感謝する |
| 保育方針 すまいる保育園の目標 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子) | | |
| 食育の目標・内容 | 育みたい資質・能力の3つの柱 食育のねらい | 健 康 人間関係 環境 | 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる |
| 4月 「新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする。」 「保育園の周りにある野菜や食べられる植物に興味を持つ。」 | ・保育者や友達と一緒に楽しく食べる。 ・畠の野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 | ・つくし ・食材の名前を知る。 ・簡単な言葉で味を表現 ・食事の時の挨拶 | ・食物確認表の確認、家庭での食事の様子の聞き取り(新入園児)、 ・当日のお願い ・入園式・どちらに祭り ・自立心 ・協同性 |
| 5月 「もっとほしい、もういらないの意思表示ができる。」 | ・「攻克ングを通してかかわる。(一緒に食べる等)」 ・畠の成長の様子 | ・「おいしい、甘い、ほんまく等の言葉 | ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然とのかかわり・生命尊重 ・数量・図形・文字等への関心、感覚 |
| 6月 「友達や保育者の見守りの中で、一緒に意欲的に楽しむ食べる。」 | ・「おじややうり・スイカ・ナス・キウイ・フルーツを食べたり・水耕栽培(さとうきび)ゼリー等」 ・「かき氷」 | ・ジャガイモの色や形、感触 ・色、大きさ、冷たい感触 | ・夏野菜の色や形、感触を表す言葉 ・朝食の大切さを知らせる。 ・七夕・夕涼み会・花しそうめん ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現 |
| 7月 「食前の手洗い、あいさつなど食生活に必要な手順を発達に応じて、身につけていく。」 | ・「スプーンやフォークなどを使いながら意欲的に食べようとする。」 ・食事の前に手を洗う。 | ・「大根の型抜き(大人)・形を楽しむ」 ・粘土で団子づくり | ・月見(日) ・触れ合い遊び会 |
| 8月 「夏野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。」 | ・「ハロウイン交流」 ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる。 | ・「さつまいも掘り・ゆず、ミカン等、実のなる木への興味、セルフおにぎり」 ・焼き芋交流 | ・「にぎにぎ」 ・当日のお願い ・ハロウインで菓子をもらう ・ハロウイン |
| 9月 「畠の野菜や保育園の周りにある果物の木に興味を持ち、身近な食べ物を知る。」 | ・「十分に体を動かし空腹感を感じる。」 | ・「熱い等温度を表す言葉」 ・芋の変化、焼ける匂い | ・焼き芋交流 ・焼き芋大会 ・餅つき |
| 10月 「収穫した野菜などを様々な方法で楽しく食べる。」 | ・「食べたい物、好きな物が増え、自分で進んで食べようとする。」 | ・「へつたん・べつたん」 | ・もち米の変化、蒸かした匂い・餅つき ・野菜スタンプ |
| 11月 「食前、食後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と一緒に楽しく落ち着いて食事をする。」 | ・「七草買物」 ・餅つき交流 | ・春の七草(七草がゆ) ・もち米・餅・こんにゃく・大根型抜き | ・餅の匂いに気づく ・冬野菜の色や形、感触 ・七草買物 ・鏡開き |
| 12月 「行事を通して、日本の行事や食文化に触れる。」 | ・豆まき交流 | ・豆まき交流 | ・豆まき交流 ・節分 |
| 1月 「道具を待っていない方の手で、ちやわんを支えて食べる。」 | ・「ひなあられ・ヨモギ」 | ・「七草の色」 | ・様の節句 |

2020年度 食育計画 (3~5歳児)

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通じて行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|-----------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 保育理念 | 保育方針 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育のテーマ | | 自然に驚き 自然に学び 自然に感謝する | | | | | | | | | | | |
| すまいる保育園の目標 | | 自立心を育む(体を動かすことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保育の目標・内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食育のねらい | | 健 康 | 人間関係 | 人間関係 | 表 現 | 保護者支援 | 主な行事 | | | | | | | | | | |
| 4月 | ・健康で安全な食生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。 ・新しい環境の中で、友達と一緒に食べる楽しさを知る。 ・食物アレルギーについて知る。 ・三食食品群分類表で食材の役割を知る。 | 食事のマナー 友達など楽しく食事をする 火起し、副菜、牛丼 作り 協力してイヤカ一を引く 八十夜の由来を知り お茶を飲み比べる 竹をもらいにいく 田植え もらう | 玉ねぎの収穫 (数、量さの比較) お店屋さん(文字、言葉 のやり取り、伝え方) 手紙を書く 自分たちで育てたい野菜の種を買いたく 行く コロッケ作り | 金話を楽しむ ちらじ養司の道具を自己 土の感触 種芋の形、色 | お井当 お嬢い | クッキング (エプロン、 マスクなどのお願 い) | すいか 種まき とん汁 お井当 クッキング | | | | | | | | | | |
| 5月 | ・身近な自然に触れる感覚を豊かにする。 ・中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。 | 竹で流しそうめん (アルギー対応あり) かき氷屋さん 売り手、買い手のやり取り 友達とクッキングをする。 ・クッキングの身支度 をする。 | にんじん、大根の再生 野菜 氷、水 火、さつまいも 三上さん、老婦の収穫 火、さつまいも 米の収穫 | 手紙を書く お店屋さん(玉ねぎ、 じゃが芋) 看板づくり 十五夜の由来を知る さつまいもをどうするの か子ども同士相談 お店屋さん(柿) | 野菜の再生、煮出し 園庭で豚作り(食材を 包丁で切る) 水、ショットの色、味 マクラウリ、すいかの シャーベット作り | 竹のお札の手紙 竹の手紙 | ねぎ収穫 バーベキュー かぼちゃや種 じやさいも収穫 田植え 竹和菓子の日 新生野菜 セタ きゅうり種まき すいかが収穫 かき氷屋さん きゅうり収穫 かぼちゃや収穫 | | | | | | | | | | |
| 6月 | ・身近な自然に触れる感覚を豊かにする。 ・中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。 | ・食事の前に手洗い、 うがいをする。 ・友達と楽しみながら 食事をする。 ・収穫した野菜など、 様々な食材に触れる。 | 月、宇宙、萩、牡丹 | クッキング 十五夜の由来を知る | トキドキデー さつまいも掘り | お盆(おはぎ) | お井当 クッキング | | | | | | | | | | |
| 7月 | ・身近な自然に触れる感覚を豊かにする。 ・中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。 | ・身近な自然に触れる感覚を豊かにする。 ・中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。 | ・竹で流しそうめん (アルギー対応あり) かき氷屋さん 売り手、買い手のやり取り 友達とクッキングをする。 ・クッキングの身支度 をする。 | さつまいもを掘る 大きさを比べる ハロウインの由来 かぼちゃのマッシュ 火、さつまいも 米の収穫 | さつまいもをどうするの か子ども同士相談 お店屋さん(柿) | トキドキデー さつまいも掘り | お盆(おはぎ) | | | | | | | | | | |
| 8月 | ・身近な自然に触れる感覚を豊かにする。 ・中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。 | ・戸外でたくさん遊び、 空腹感を味わう。 ・食事の前の挨拶「い ただきます」「ごちそう さま」 | 焼き芋、火起こし 餅をつく | 手紙を書く | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | | | | | | | | | | |
| 9月 | ・野菜の栽培を通して、植物が育つ環境に興味を持ち、命を大切にすることを学ぶ。 ・食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちは持つ。 | ・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。 ・食具の使い方を知り、身に付ける。 | お店屋さん 菓子屋植工で買い物 | 手紙を書く | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | | | | | | | | | | |
| 10月 | ・野菜の栽培を通して、植物が育つ環境に興味を持ち、命を大切にすることを学ぶ。 ・食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちは持つ。 | ・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。 ・食具の使い方を知り、身に付ける。 | お店屋さん 菓子屋植工で買い物 | 手紙を書く | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | | | | | | | | | | |
| 11月 | ・野菜の栽培を通して、植物が育つ環境に興味を持ち、命を大切にすることを学ぶ。 ・食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちは持つ。 | ・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。 | 春の七草の種類 七草粥 おせち料理 | 手紙を書く | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | お盆(おはぎ) | | | | | | | | | | |
| 12月 | ・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 ・食材の大切さを知り、すべての命に感謝の気持ちを持つ。 | ・どのようにしたら割れる (のか) | 春の七草の種類 七草粥 おせち料理 | 春の七草 もち米のシユーマイ作り たくさんのお焼き | おせち料理 おせち大根作り 餅と白菜のチヂミ作り | 正月 正月の七草 餅つき、大根 | 正月の七草 餅つき、大根 | | | | | | | | | | |
| 1月 | ・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 | ・お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | | | | | | | | | | |
| 2月 | ・食材の大切さを知り、すべての命に感謝の気持ちを持つ。 | ・お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | | | | | | | | | | |
| 3月 | ・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 | ・お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | お年賀 | | | | | | | | | | |

令和2年度 自衛消防訓練計画

伊佐沼すまいる保育園

| 月 日 | 種別 | 発生場所 | 時間帯 | 避難場所 | ねらい | 内容 | 指導及び留意点 |
|---------------|---|--|----------------|--|---|--|---|
| 4月13日 (月) | 地震 初期消火 年間指導 計画作成 | 関東北部にて 震度3程度の 揺れ | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場 所 | ・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全場所に避難し、保育士の指示に従う ・紙芝居などを用いて避難の意味を知る ・避難訓練の意味・意義を伝える ・緊急時の放送・合図の周知 ・保育士の所に集まる練習 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難リュックの中の点検 ・消火器類の確認、初期消火 ・人數確認・報告 | 【職員の意思統一】 ・非常災害対策責任分担表(火災予防の担当者、自衛消防隊編成組織表)を理解し、緊急事態発生に備えて確認をする。 ・避難経路・消火器の設置場所・防災頭巾・避難靴・避難用持ち出し袋・避難時に持ち出さなくてはいけないもの・非常食の確認をする。 ・地震・火災時の職員の対応の理解 ・色々な災害発生場所を想定した避難経路の確認をする。 ・消火器の使い方の確認をする。(総合防災訓練時の水消火器訓練) |
| 5月13日 (火) | 地震 初期消火 | 関東南部にて 震度4程度の 揺れ | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場 所 ↓ 各クラスの出入り 口まで移動、整列 | ・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・避難口に移動、整列する ・初期消火 | 【火災・地震訓練】 ①生命の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。 ②保育士自身が落ち着いて避難誘導する。 ③各自の任務を声掛け合いながら実行する。 ④火元の確認・火元から遠ざかる。 ⑤日頃より避難経路の確認、確保(荷物等で塞いでしまう事のないように)をする。 ⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。 ⑦日々、避難靴の有無・サイズの確認をする。幼児は靴の履き方、整列の練習を保育の中で行う。 ⑧乳児担任はおんぶの仕方(おんぶ紐の仕方)を練習する。 ⑨日々、避難リュックの中身の確認をする(携帯電話、救急薬品、ティッシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、着替え、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オシブ類など) ⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。 ⑪火災の時は窓を開める。(延焼を防ぐ) ⑫地震の際は出入口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カーテンは下ろす。(避難経路の確保、窓ガラスの破損防止) ⑬地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。 ⑭落下物・転倒防止器具の確認をする。(室内外の整理整頓) ⑮日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。 ⑯個別支援の必要な子どもには保育者が付く。 ⑰避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。 (2次災害の防止) |
| 6月18日 (木) | 総合防災訓練 火災 初期消火 | 厨房より出火 | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場 所 ↓ 各クラスの出入り 口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・火災の避難の仕方を 知る ・避難滑り台での避難に 慣れる(3.4、5歳児) ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難口に移動、整列する ・園庭への速やかな避難 ・人數確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ・避難用滑り台による避難(3.4、5歳児) ・起震車、煙体験 | 【人數確認・報告】 ・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。 ・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人數の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可。 ・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいるか確認をする。 |
| 7月15日 (水) | 地震 水遊び時の避難 初期消火 | 関東北部にて 震度3程度の 揺れ | 午前保育中 10:30 | 安全な場所 ↓ 待機 | ・水遊び時の避難方法 を知る ・衣服が濡れた時の状 態を知る(4、5歳児) ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・プール遊び時の避難方法の周知 ・人數確認・報告 ・消火訓練(着衣訓練…4.5歳児) | 【救命急救講習(予定)】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命急救の方法を理解する。 |
| 8月20日 (火) | 火災 初期消火 | 厨房より出火 | 午後保育中 16:00 | 室内的安全な場 所 ↓ 各クラスの出入り 口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・降園時の避難に慣れ る ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・消火訓練 | 【救命急救講習(予定)】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命急救の方法を理解する。 |
| 9月16日 (水) | 地震 初期消火 | 埼玉南部にて 震度4程度の 揺れ | 午前保育中 9:15 | 室内的安全な場 所 ↓ 各クラスの出入り 口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・登園時の避難に慣れ る ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・落下方・転倒防止などの確認 ・登園直後・午前おやつ中の避難 ・避難口に移動、整列する ・園庭に避難 ・初期消火 | 【人數確認・報告】 ・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。 ・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人數の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可。 ・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいるか確認をする。 |
| 10月13日 (火) | 総合防災訓練 引取り訓練 地震 広域避難場所 への避難 初期消火 伝言災害ダイヤ ル体験 | 関東全域に 震度6程度 | 午後保育中 15:30 | 室内的安全な場 所 ↓ 各クラスの出入り 口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 ↓ 広域避難場所へ 移動 | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・広域避難場所において、落ち着いて過ごす | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ☆降園時…引取り訓練実施 伝言災害ダイヤル | 【救命急救講習(予定)】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命急救の方法を理解する。 |
| 11月 予告なし | 地震 初期消火 水害 | 関東北部で直 下型地震発生 震度7程度 伊佐沼の氾濫 を想定 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・浸水を想定して避難場 所までの移動をシミュ レーションする | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難経路の確認 ・人數確認・報告 ・消火訓練、初期消火 ・広域避難場所までの避難、誘導 ・園からの持ち出し物資の確認 ・洪水時の避難確保に切替える | 【消防訓練(初期消火)】 ・まずは身の安全の確保をする。 ・消火器の使い方を知る。 ・火元の確認・把握をする。 ・初期消火に向かう際は、必ず大声で周りに状況を伝え、応援を求める。 ・ピンは火元から5m程の距離にて抜くようにする。(力が入ってしまい、一度レバーを握ってしまうと、消化液が止まらなくなるため) ・火元の手前から徐々に近づいていく。 |
| 12月 予告なし | 火災 初期消火 | 月組より出火 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・出火場所を考慮して安 全に避難する | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【引き取り訓練】 ・防災頭巾・上履きを着用する。(訓練時)普段の訓練時も着用。 ・引き取り時、保護者の確認をして、子どもを渡す。(必ず「すまいるカード」の確認をする) |
| 1月 予告なし | 地震 初期消火 | 埼玉県北部で 震度4程度 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難経路の確認 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【広域避難場所までの避難】 ・農業触れ合いセンターまで避難方法の周知。 ・子どもの安全な誘導、職員の連携を取る。 ・園からの持ち出し物資の確認することで、再度何を持ち出したらよいのか検討する。 |
| 2月 予告なし | 火災 初期消火 | 虹組より出火 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【時間未設定での避難訓練】 ・通常保育の中で、放送に指示に従い避難する。 ・訓練時間、避難場所、避難方法に関しては、未設定とする。 |
| 3月 予告なし | 地震 初期消火 水害 | 埼玉県南部で 震度5程度 入間川、荒川 の氾濫を想定 | 時間未設定 | 放送の指示によ る 注意体制確立 警戒態勢確立 非常態勢確立 | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【水害訓練】 ・浸水を想定した避難訓練を行う。 ・避難経路の確認。 ・避難場所(川越高校・川越総合高校)までの移動および手段の確認。 ・避難確保器材の確認。 ・情報伝達訓練。 |

2020年度 伊佐沼すまいる保育園 年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2020.2月更新(看護分科会作成)

| 月 | 担当者 | 保健目標 | 毎日・毎月・随時 /看護分科会 | 子どもへの働きかけ ／保健行事 | 園内研修・職員周知 | 家庭・地域との連携 | |
|-----|-----|--|---|--|--|--|--|
| 4月 | 伊佐沼 | 進級・入園に伴う環境の変化に備える（生活リズムを整える・園での生活に慣れる） | <毎日> ・視診（体調不良の早期発見） ・触診検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 <毎月> | ・入園時健診 <毎月> ・身体測定 ・生外活動の注意点（熱中症・けが） ・新入園児のSIDS/SUDIの注意喚起 ・看護分科会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起 ・熱中症対策（帽子・水分補給等） | ・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点（熱中症・けが） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性（3歳未満） ・発熱時の対応（適時） | ・ほけんだより :4月：園生活、熱後、感染症別紙配布 ・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・靴の選び方 ・午睡の必要性（3歳未満） ・発熱時の対応（適時） ・家庭調査票の提出・確認・活用 ・基礎疾患、個別配慮、アレルギーなど の把握（適時） ・体調変化に伴う連絡（目安・緊急時等） ・感染症の掲示、キッズリーでの配信 ・予防接種状況把握・CCW入力 ・保険証・乳児医療受給者証の期限把握（全園児） | |
| 5月 | 鶴ヶ岡 | 手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ | <毎月> | ・身体測定・記録 ・カウブ指數による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証の期限チェック ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬のチェック ・安全WTへの参加 ・看護分科会 ・検便検査（職員） | ・虫歯予防デー ・虫みがき指導（3歳以上） ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策（11月まで） | ・熱中症予防 ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策（11月まで） ・虫刺され（蚊）：アロマ虫よけ ・虫歯予防 ・虫の清潔 ・虫刺され（蚊）：アロマ虫よけ ・夏の感染症 ・皮膚の清潔 ・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣 | ・歯科健診の結果・治療の案内 ・虫歯予防 ・虫の清潔 * 夏の寝具・衣服の切り替え * 適時、未受診者の通知 |
| 6月 | 3丁目 | 感染症に注意する 虫を大切にする | <毎月> | ・虫歯予防デー ・虫みがき指導（3歳以上） ・虫遊びの注意事項 ・水遊び | ・水遊びの注意（感染・事故） ・水いは注意 | ・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・虫の生活習慣 | ・内科健診の結果・治療の案内 ・虫歯予防 ・虫の清潔 * 夏の寝具・衣服の切り替え * 適時、未受診者の通知 |
| 7月 | | 暑さに負けず、元気に過ごす | <毎月> | ・虫遊びの注意事項 ・水遊び | ・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣 | ・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・虫の生活習慣 | ・お弁当への注意（安全WT） * 保険証・乳幼児受給者証 確認 (ひとり親世帯・国保) |
| 8月 | | | | | | | |
| 9月 | | けがに気をつけて、体を動かす | <毎月> | ・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、キッズリーでの配信 ・体温計の管理 ・お散歩バック内 | 世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導 ・咳エチケット | ・空気清浄機点検・整備 ・冬の服装（下着の着用） | ・目への愛護デー ・予防接種（日本脳炎・インフルエンザ） ・冬の寝具・衣類の切り替え |
| 10月 | | 体を動かすこと楽しくする | | | | | |
| 11月 | | 薄着の習慣をつけ 文夫な身体を作る | | ・救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・保険証・乳児医療受給者証の期限確認・管理 ・嘔吐セットなどの備品管理 | 内科健診 インフルエンザの欠席について | ・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎 | ・内科健診の結果・治療の案内 ・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎 |
| 12月 | | インフルエンザや 風邪の予防に努める | | | | ・インフルエンザ ・冬の感染症・予防 ・発熱時の対応 | * 保険証・乳幼児受給者証 確認 (ひとり親世帯・国保) |
| 1月 | | 寒さに負けず外遊びを楽しむ（体づくり） | | | | ・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る | |
| 2月 | | 耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する | | ・保健計画の評価・検討 | | ・冬のスキンケア（しもやけ・乾燥） | |
| 3月 | | | | | | ・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症 | * 保険証・乳幼児受給者証 確認 (埼玉土建・卒園・退園児返却) |

2020年度全体的な計画(三丁目すまいる保育園)

| 保育指針のポイント1 | | 環境を通じて行う | 保育指針のポイント2 | 養護と教育の一體的展開 |
|----------------|----------------|-----------------------|-----------------------------|--|
| 保育理念 | | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む |
| 保育方針 | | | | 1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う |
| すまいる保育園の目標 | | | | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子供・頭を使うことが大好きな子供・人と関わることが大好きな子供) |
| 家族の状況及び保護者への支援 | | | | 地域の実態と関わり 地域清掃への参加、HP・行事への参加・招待、姉妹園交流、ラジオ体操、敬老、センタ、三丁目祭り、埼玉ふじみ野ケアセンター、防災訓練 |
| 衛生・健康 | | | | 毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回) 普遁救命救急講習 内科検診(2回)歯科健診(1回)害虫駆除、手洗い、お茶を飲む、清掃、消毒、資源(衣類・パンク) いのちのリスト、マニホールドバイパスの活用、不審者、SIDS |
| 保育の目標・内容 | | | | |
| 教育 | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育指針のポイント1 | 1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力 | 連携施設との連携 主な行事 |
| | 保育目標 | 0歳児前半 | 1歳児 | 六四式 タ涼み会 三丁目祭り 触れ合い遊び会 ハロウイン ウインターフェスタ 伝承遊びワーク 鶴ヶ岡焼き芋・餅つき 2分の1卒園式 |
| | 生命の保持 | 0歳児後半 | 2歳児 | 国交流、子どもとの発達の共有、連携 他園交流、他園との研修 |
| | 情緒の安定 | 1歳児 | 3歳児 | 安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でようとする気持ちを育てる ・食事や排泄などの身の回りのことに対する心地よさを守り、必要に応じて援助する |
| | 健 康 | 1歳児 | 2歳児 | ・安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でようとする気持ちを育てる ・身の回りのことを大切に思って取りや書きшибきを楽しむ ・運動機能を高め、身体活動を楽しむ |
| | 人間関係 | 1歳児 | 3歳児 | ・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でよく見守る ・身の回りのことを大切に思って取りや書きшибきを楽しむ ・運動機能を高め、身体活動を楽しむ |
| | 環 境 | 1歳児 | 3歳児 | ・身の回りのことを大切に思って取りや書きшибきを楽しむ ・運動機能を高め、身体活動を楽しむ |
| | 言 葉 | 1歳児 | 3歳児 | ・身の回りのことを大切に思って取りや書きшибきを楽しむ ・運動機能を高め、身体活動を楽しむ |
| | 表 現 | 1歳児 | 3歳児 | ・身の回りのことを大切に思って取りや書きшибきを楽しむ ・運動機能を高め、身体活動を楽しむ |
| 食育 | | | | |

食育

・調理保育(厨房と連携)　・食べる量の選択
→お米とごはんやパンやプレートなどを用
→草野菜、葉物、サツマイモなど保育士
がお手で作ることで、直接体験ができる
ようにする
→お野菜や果物を量ねることで、食べ
やすい量や形や色などお好みの量や形で
お手で扱える
・簡単な料理体験を広げる
→お野菜や果物の音や匂いを広げる
・味や匂いを広げる
→お野菜や果物の音や匂いを広げる
・味や匂いを広げる

・プランターでの栽培
→草野菜、葉物、サツマイモなど保育士
がお手で作ることで、直接体験ができる
ようにする
→お野菜や果物を量ねることで、食べ
やすい量や形や色などお好みの量
を食べられるようにする

2020年度保育計画(乳児用)三丁目すまいる保育園

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | |
|-----------|--|--|-----------------------------------|--|----------------|--|--|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | 保護者支援 | 主な行事(地域を含む) | 10の姿 | |
| 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | すまいる保育園の目標 | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子) | | | | |
| 保育の目標・内容 | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育のねらい(重点目標) | 健やかに伸び伸びと育つ | 身近な人と気持ちは通じ合う | 身近なものと関わり感性が育つ | 保護者支援 | 主な行事(地域を含む) |
| 4月 | 【特定の大人との応答的な関わりを大切にして過ごす】 | -安心して過ごす (安心してミルで苦内の深んだり、食事を食べる) -ゆったりと外気浴を楽しむ (散歩者になれる。) -雨を楽しむ (玄関先で雨に触れたり、音を楽しむ) | -安心して身近な人と過ごす わらべ歌・季節の歌 | -室内でゆっくりと過ごす | -室内外でやったりと過ごす | -慣れ保育 -子育て状況アンケート -保護者会(保) -会との連携 | 健健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然とのかかわり・生命尊重 数量・图形、文字等への関心、感覺 言葉による伝え合い 豊かな感性表現 |
| 5月 | 【一人ひとりに合わせた安定した生活リズムで気持ちよく過ごす】 | -水と触れ合う -地域の人と触れ合う | -欲求を受け止めてもうう -身近な人の応答的な関りを楽しむ | -春の自然に触れながら、戸外遊びを楽しむ | -春の手を伸ばしてみる | -内科健診(保) -ケンサーカーの方との交流(地) -ボーフォリオ配布 -運動会での交流・意見交換 -保護者懇談会(保) -歯科検診(保) | |
| 6月 | | -安心して睡眠をとる | | | | -行事を通じての子どもの 育ちの共有 -行事満足度アンケート -保育参加での共有 | |
| 7月 | | | | -室内・戸外で感触遊びを楽しむ (塩の具・水・ミスト・泥・氷・新聞紙・ボール) | -室内で触れる | -保育参加での共有 -三丁目夏祭り(地) -七夕笹飾り(地) | |
| 8月 | | | | | | -ポートフォリオ配布 -保育参加での共有 | |
| 9月 | | | | | | -保育参加での共有 -ハロウインの保護者参加 -の呼びかけ | |
| 10月 | 【身近な人や物への興味や好奇心を持ち、十分に楽しめるようにする】 | | | | | -行事を通しての子どもの 育ちの共有 -内科健診(保) | |
| 11月 | | | | | | -秋の自然に触れる (収穫・ド・グリ・花) | |
| 12月 | | | | | | -自然物を製作や装飾に活かす -身近な野菜に触れて、食育等とも絡めながら嗅覚・味覚・視覚等に意識的に動きかけていく | |
| 1月 | 【生活や遊びの中でも様々な物に触れ、気付きや感覚の働きを豊かにする】 | | | | | -身の回りの事を一緒に行う | |
| 2月 | | | | | | -様々な素材で風を感じる (ビニール・風船・スズランテーブ等) | |
| 3月 | | | | | | -たくさん体を動かして遊ぶ | |

2020年度食育計画(1、2、3歳児)

| 保育指針ポイント1 保育理念 | | 環境を通して行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育指針ポイント2 保育目標 | | 養護と教育の一体的展開 生きる力の基礎を育む | | | |
|--|--|--|--|---|---|--------------------------------|--|--|--|
| 保育方針 すまいる保育園の目標 | | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども) | | | | 楽しむ・食べる | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しむ力を育てる | | | | | | | |
| 教育の目標・内容 | 健 康 | 人間関係 | 環 境 | 言 語 | 表 現 | 活 効 | 地域・保護者連携 主な行事 | | |
| 4月 ・保育理念 | ・様々な食材や味になれる ・保育者と情緒の安定・自らのベースで食事を図る | ・「プランターでの栽培を行ってみる」 ・近隣のお店に行ってみる | ・食材の名前を知る ・行事を通して日本文化を知る | ・食材の違いを感じる | ・食材を通じて日本の文化を学ぶ | ・入園式 ・慣れ保育 ・お誕生日のリクエスト食材 | 10の姿 ・近隣の方へ入園のお知らせをする ・慣れ保育中・食事の様子を見てもらう ・献立表、食材の確認、通帳 ・近隣の店に行つてみる ・運転中の様子、疲れ具合等連携 ・懇親会での午後食試食 | | |
| 5月 ・園での生活リズムに少しずつ慣れしていく ・園での食事や色々な食材に慣れていく | ・自分と食事を通して日本文化を学ぶ | ・4月)・スナップえんどう 5月)ハナ夜(緑茶 ワーク)そら豆のさや 6月)メロン | ・食材の確認、運営 ・近隣の店に行つてみる ・運転中の様子、疲れ具合等連携 ・懇親会での午後食試食 | ・子どもたちの日 | ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり | ・セミナー ・懇親会 | ・自然とのかかわり・生命尊重 ・数量・图形、文字等への関心、観察 | | |
| 6月 ・さまざまな食事に触れる | ・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う | ・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える | ・野菜の特徴に気づく ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・「カッティング」を使つて様々な道具を使ってみる ・道具を通して野菜を切る ・お弁当(お手軽に作れる) | ・地図の方との交流 ・タラコ(のこぶし) ・近隣の店に行つてみる ・水溶けに伴つて解食の大切さを伝える ・虹グループ月1回のお弁当(子どもが食べやすいお弁当を伝える) | ・七夕 ・夕涼み会 | ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現 | | |
| 7月 ・さまざまな食事に触れる | ・日中の活動で身体を十分に動かし、自ら進んで食事を食べる ・さまざまなおいしさを味わう | ・季節の食材に触れる ・食材の名前や料理の名前を知る | ・野菜の特徴に気づく ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・「カッティング」を使つて様々な道具を使ってみる ・道具を通して野菜を切る ・お弁当(お手軽に作れる) | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を把握し、医師の診断書をもとに指導書、全職員共通認識その他のアレルギー食提供までの手順に沿つて配膳していく | | |
| 8月 ・さまざまな食事に触れる | ・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う | ・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える | ・野菜の特徴に気づく ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・「カッティング」を使つて様々な道具を使ってみる ・道具を通して野菜を切る ・お弁当(お手軽に作れる) | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 9月 ・さまざまな食事に触れる | ・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う | ・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える | ・野菜の特徴に気づく ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・「カッティング」を使つて様々な道具を使ってみる ・道具を通して野菜を切る ・お弁当(お手軽に作れる) | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 10月 ・さまざまな食事に触れる | ・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う | ・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える | ・野菜の特徴に気づく ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・「カッティング」を使つて様々な道具を使ってみる ・道具を通して野菜を切る ・お弁当(お手軽に作れる) | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 11月 ・散歩先の実のなる木や身近な食べ物を知る ・食器の付けを少しずつ自分たちでやつてみようとする | ・季節の食材を食べてみる ・飾り巻や様々な方と一緒に触れてみる ・冬野菜を育ててみる | ・普段お世話をなつてある方に感謝の気持ちを持つ ・冬野菜を育ててみる | ・ありがとうを伝えてみる ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・食材を使って、制作等を行つてみる ・食材を通して日本文化を学ぶ | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 12月 ・さまざまな食事に触れる | ・季節の食材を食べてみる ・友だちと食事を楽しむ | ・普段お世話をなつてある方に感謝の気持ちを持つ ・冬野菜を育ててみる | ・ありがとうを伝えてみる ・行事を通して日本文化を学ぶ | ・食材を使って、制作等を行つてみる ・食材を通して日本文化を学ぶ | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 1月 ・季節を感じながら食事をする | ・日本の伝統的な行事を食べてみる | ・季節の食材を食べてみる ・友だちと食事を楽しむ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 2月 ・季節を感じながら食事をする | ・季節を感じながら食事をする ・日本の伝統的な行事に触れる | ・季節の食材を食べてみる ・友だちと食事を楽しむ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |
| 3月 ・季節を感じながら食事をする | ・季節を感じながら食事をする ・日本の伝統的な行事に触れる | ・季節の食材を食べてみる ・友だちと食事を楽しむ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・様々な感触を楽しむ ・行な文化を学ぶ | ・お手作りおもちゃ ・お手作りおもちゃ | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | ・お正月・七草 ・伝承ワーク ・焼き芋会 | | |

2020年度 食育計画(乳児用)

| 保育指針ポイント1 保育理念 保育方針 すまいる保育園の目標 育みたい資質・能力の3つの柱 食育のねらい 保育の目標・内容 | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 自立心を育む(体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども) | | 養護と教育の一体的展開 生きる力の基礎を育む | |
|--|---|---|---|--|--|--|
| | 保育目標 | 保育指針ポイント2 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 自立心を育む(体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども) | 養護と教育の一体的展開 生きる力の基礎を育む | 実際の活動 | 10の姿 | |
| 4月 ・少しづつ新しい環境に慣れていく ・保育者との愛情関係をはぐくむ ・お腹が空き、食事を食べ、午睡するリズムに慣れていく | 身近な人と伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 入園式 慣れ保育 お誕生日のリクエスト食材 | ・タケノコ、アスパラ に触る。 | 健健全な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然とのかわり生命尊重 |
| 5月 ・お腹が空き、食事を食べ、午睡するリズムに慣れていく | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 子どもの日 | ・水に触れる。 ・赤ちゃんに触る ・やさしくて一緒に金魚セリを食べる | 数量・図形 文字等への觸り、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 |
| 6月 ・日中の活動を楽しむ 一定のリズムでお腹が空くように整えていく 食べ物を手つかみ、口元に運ぶ | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 七夕 七夕涼み会 | ・おやつの詰めをすりつぶして食べる。 ・水に触れる。 ・赤ちゃんに触る ・やさしくて一緒に金魚セリを食べる | ・自然とのかわり生命尊重 ・数量・図形 文字等への觸り、感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現 |
| 7月 ・日中の活動で体を十分に動かし、お腹が空き、食事を食べる、ミルクを飲む ・色々な食材そのものの味や舌ざわりを楽しむ ・食べ物の食感や感触を楽しむ | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 十五夜 | ・慣れ保育中、家庭で2回以上食事の様子を聞きながら、運営が大切と伝えていく ・食物確認表 ・食べべた事のない食材は、家庭で2回以上食べてから | ・前立表の食材確認をする ・朝食の大切さを伝えている ・栄養士、保育者、保護者の三者で面談をしながら、離乳食を進めていく ・懇談会で午後食試食 |
| 8月 ・食べ物の食感や感触を楽しむ | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 十三夜 ハロウイン | ・歌はずつでテープルを囲み、やつたりとした環境で食事をする。 | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 9月 ・旬の食べものなどに接する機会を持ち、楽しく食べる | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 勤労感謝の日 | ・栗、みかん、ブロッコリー、カリフラワー ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる | ・★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 10月 ・旬の食べものなどに接する機会を持ち、楽しく食べる | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 ウインターフェスタ 冬至、クリスマス | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする |
| 11月 ・食べ物を取り入れ、よくかむことを身につけていく ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 伝承遊びワーク リード草会 節分 懇談会 | ・おやつと同じ野菜の調理前を実際に触る ・かぶ、ブロッコリー、にんじん等冬野菜に触ったり匂い、重さを感じる | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 12月 ・行事を通して、日本の行事や、食文化に触れる ・食事の前には、手を洗うことや、食後の口拭きなど、自分でやってみる ・みんなで食べる楽しさを知る | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 ひな祭り | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 1月 ・行事を通して、日本の行事や、食文化に触れる ・食事の前には、手を洗うことや、食後の口拭きなど、自分でやってみる ・みんなで食べる楽しさを知る | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 ひな祭り | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 2月 ・みんなで食べる楽しさを知る | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 ひな祭り | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |
| 3月 ・みんなで食べる楽しさを知る | 体やかに伸びひど育つ 安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる | 身近な人と気持ちが通じ合う 新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる | 身近なものと関わる感性が育つ 新しい環境に受け止めて 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする | 保護者支援 ひな祭り | ・手づかみ食べから一口量を知る ・前歯でかじりとする経験をしてみる ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする | ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとで把握し、全職員共通認識でのアレルギー対応の手順に沿って配備していく |

2020年度 食育計画(1・2歳児)

| 園長 | 主任 | 副主任 | 担当 | 保育指針ポイント1 | 環境を通して行う | 保育指針ポイント2 | 養護と教育の一体的展開 |
|------------|--|---------------------------------|---|--|---|--|---|
| 保育理念 | | | | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育のテーマ | 自然に響き 自然に学び 自然に感謝する |
| 保育方針 | | | | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | | | |
| すまいる保育園の目標 | | | | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子) | | | |
| 食育の目標・内容 | | | | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 健 康 | 人間関係 | 環 境 |
| 4月 | ・新しい環境や保育者に慣れ、見守ながら自分で食べようとする。 | ・保育者や友達と一緒に楽しむ。 | ・つくり | ・食材の名前を知る。 ・簡単な言葉で味を表現 (年齢を通して) | ・ままごと | ・食物説教の遊び、家庭での食事の様子の聞き取り(新入園児) ・井戸の日のお願い | ・入園式 ・どちらに祭り |
| 5月 | ・保育園の周りにある野菜や食べられる植物に興味を持つ。 | ・畠の野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 | → | ・食事の接觸 | | | 健康な心と体 自立心 協同性 |
| 6月 | ・もつとほしい、もういらないの意思表示ができる。 | ・野菜の成長の様子 | ・「美味しい」といふ言葉 | ・おいしい、甘い、「ほいく」等の言葉 | ・ジャガイモの色や形、感触 | | 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然とのかかわり・生命尊重 数量・图形、文字等への関心。 |
| 7月 | ・友達や保育者の見守りの中で、一緒に意欲的に楽しむ食べる。 | ・スプーンやフォークなどを使って、自分でからかうように食べる。 | ・スイカ ・ナス ・キュウリ | ・色、大きさ、感触を表す言葉 | ・夏野菜の色や形、感触 (赤、緑、紫、大きい、小さい、とげとげ、つるつる等) | ・朝食の大切さを知らせる。 | ・七夕 ・涼しき会 ・涼しきめん ・感覚 |
| 8月 | ・食前の手洗い、あいさつななど食生活に必要な手順を発達に応じて、身につけていく。 | ・夏の野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 | ・ブロッコリー ・かき水 ・水耕栽培(さつまいも) ・ゼリー | ・冷たい感触 | ・野菜スタンプ | | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 |
| 9月 | ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる。 | ・食事の前に手を洗う。 | → | ・大根の型抜き(大人)・形を美しく ・稻穀と米 | ・粘土で団子つくり | | ・目見(日) ・触れ合い遊び |
| 10月 | ・畠の野菜や保育園の周りにある果物の木に興味を持ち、身近な食べ物を知る。 | ・様々な食材、味に慣れる。 | ・ハロウイン交流 | ・さつまいも・堺芋・ミカン・柿、東京の木への興味、セーフルフおにぎり | ・「にぎにぎ」 | ・井戸の日のお願い | ・ハロウインで栗子をもらう ・ハロウイン |
| 11月 | ・収穫した野菜などを様々な方法で楽しく食べる。 | ・吸種したものをお味わう。 | ・焼き芋交流 | ・「熱い」等温度を表す言葉 | ・芋の変化、焼ける匂い | | ・焼き芋交流 ・ウインターフェスタ ・餅つき |
| 12月 | ・食べたい物、好きな物が増え、自分で進んで食べようとする。 | ・十分に体を動かし空腹感を感じる。 | ・餅つき交流 | ・大根 ・もらみ、餅 ・大根型抜き | ・「べつたん べつたん」 | ・もち米の変化、蒸かし ・野菜スタンプ | ・七草買い物 ・餅の匂づく ・餅の香り |
| 1月 | ・食前、食後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と一緒に落着いて食事をする。 | ・春の七草(七草がゆ) | | | | ・餅の匂づく ・冬野菜の色や形、感触 | ・七草買い物 ・餅開き |
| 2月 | ・行事を通して、日本の行事や食文化に触れる。 | ・豆まき交流 | ・裏方巻、豆、イワシ | | ・イワシの匂い | | ・節分 ・豆まき交流 |
| 3月 | ・食器を持ついない方の手で、ちゃんとを支えて食べる。 | → | ・ひなめられ ・ヨモギ | ・麦餅の色 | | | ・桃の節句 |

2020年度 年間安全計画

三丁目すますいる
保育園

| 月 | 安全関係行事 | 子どもへの働きかけ | 園内・園外研修 職員周知 | 環境 | 分科会 |
|-----|--|------------------------------------|---|---|-----------------------|
| 4月 | ・避難訓練 | ・安全パトロール ・散歩先の安全確認 ・散歩時の注意確認 | ・SDS、 ・日中の體の掛け方、来客者・業者の対応 マニユアル ・アレルギー・既往歴の確認 ・散歩マニュアルの確認、植物の危険 | ・いのちのリスト(毎日) ・ビヤリハット集計(月1) ・安全意識チェック(月1) ・SDS強化 ・防災整備(セコム・火災探知機)の確認 | 14日(火) |
| 5月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル171体験(1、15 日) ・不審 着対応訓練、すまいる カード呼びかけ | ・熱中症の危険(指數、顔マーク を掲示) | ・熱中症について、誤飲・誤嚥、虐待 ・虫などの危険 ・蚊(テング熱など)・毛虫など ・非常ベルを使用した避難訓練 | ・虫よけの準備 ・熱中症指教掲示 | 12日(火) |
| 6月 | ・総合防災訓練、災害伝 言ダイヤル体験 | ・熱中症訓練、災害伝言タ イヤル体験 | ・園外活動での蚊、虫対策 ・ブールのルール確認 | ・玩具消毒の徹底 ・玩具消毒品確認 | 9日(火) |
| 7月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 | | ・巣巻について ・蜂の事故について ・水の事故について ・夏の感染症について | ・水質管理(毎回) | 7日(火) |
| 8月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 ・不審者対応訓練 | | ・巣巻にいるカードの呼びかけ ・清掃マニュアルの確認 ・普通救命講習 | → ・室内の危険箇所の確認 ・大規模災害時マニュアルについて ・普通救命講習 | 18日(火) |
| 9月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験、すまいるカード 呼びかけ | | ・すまいるカードの呼びかけ | → ・いのちのチェックリストの見直し | 8(火) |
| 10月 | ・総合防災訓練(通報訓練) ・引き渡し訓練 | | ・非常ベルを使用した避難訓練 | → ・非常食、発電機の試験と重転 非常用品確認 | 13日(月) |
| 11月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 | ・手洗い、うがいの呼びかけ | ・感染症について ・インフルエンザ ・嘔吐処理1 ・すまいるカードの呼びかけ | → ・加湿器の管理 ・インフルエンザ ・嘔吐処理2 ・凍結防止 | 10日(火) → ・SDS強化 |
| 12月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 ・不審者対応訓練の実施 | | | | 8日(火) |
| 1月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 | | | | 12日(火) |
| 2月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験、すまいるカード 呼びかけ | | | → ・いのちのチェックリストの見直し | 8日(月) |
| 3月 | ・避難訓練、災害伝言タ イヤル体験 | | → ・年間まとめ ・入園当初のSDSについて | | 9日(火) |

2020年度 三丁目すまいる保育園 保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2020.2月更新(看護分科会作成)

| 月 | 担当園 | 保健目標 | 毎日・毎月・随時 /看護分科会 | 子どもへの働きかけ /保健行事 | 園内研修・職員周知 | 家庭 地域との連携 |
|-----|-----|--|--|--|--|--|
| 4月 | 伊佐沼 | 進級・入園に伴う環境の変化に慣れる ・園での生活に慣れる (生活リズムを整える) ＜毎日＞ | ・視診((体調不良の早期発見) ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児・けが等の対応 ・医療糊・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 | ・入園時健診 ・身体測定 ＜毎月＞ | ・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点 (熱中症・けが) ・新入園児の SDS ・SUDIの注意喚起 ・看護分科会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起 ・熱中症対策 (帽子・水分補給等) | ・4月：園生活、熱後、感染症別紙配布 ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性（3歳未満） ・発熱時の対応（適時） ・ほけんだより |
| 5月 | 轟ヶ岡 | 手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ | ・身体測定・記録 ・カウアブ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保健証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、既往歴の把握 ・救急箱・預かり薬のチェック ・安全WTへの参加 ・看護分科会 ・検便検査（職員） | ・歯科健診 ・虫歯予防デー | ・熱中症予防 ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策 (11月まで) | ・歯科健診の結果・治療の案内 ・虫歯予防 ・虫刺され（蚊）：アロマ虫よけ ・夏の感染症 ・皮膚の清潔 ・虫刺され（蜂・毛虫） ・夏の生活習慣 ・夏を乗り切ろう ・夏の感染症 ・皮膚の清潔 ・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・虫刺され（蜂・毛虫） ・夏の生活習慣 ・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急時の対応 (救命講習) |
| 6月 | 3丁目 | 感染症に注意する 歯を大切にする | ・暑さに負けず、 元気に過ごす | ・内科健診 ・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項 | ・水遊びの注意 (感染・事故) ・水いぼ注意 | ・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え * 適時、未受診者の通知 ・お弁当への注意(安全WT) * 保険証・乳幼児受給者証 (ひとり親世帯・国保) |
| 7月 | | | | | | |
| 8月 | | | | | | |
| 9月 | | けがに気をつけ、 体を動かす | ＜随時＞ | ・世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導 ・咳エチケット | ・緊急時の対応 (救命講習) | ・冬の寝具・衣類の切り替え ・お弁当への注意(安全WT) * 保険証・乳幼児受給者証 (ひとり親世帯・国保) |
| 10月 | | 体を動かすこと楽しむ | | ・体温計の管理 ・お散歩ハック内 | ・空気清浄機点検・整備 ・目愛護デー ・予防接種 (日本脳炎・インフルエンザ) ・冬の服装(下着の着用) | ・冬の寝具・衣類の切り替え ・目愛護デー ・予防接種 (日本脳炎・インフルエンザ) ・冬の服装(下着の着用) |
| 11月 | | 薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る | インフルエンザや 風邪の予防に努める | ・内科健診 | ・インフルエンザの欠席について ・空気清浄機・整備 ・鼻のかみ方・中耳炎 | ・内科健診の結果・治療の案内 ・インフルエンザ ・冬の感染症・予防 ・発熱時の対応 ・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る |
| 12月 | | 寒さに負けず外遊びを楽しむ(体づくり) | | | | |
| 1月 | | 耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する | | | | ・冬のスキッケア(しもやけ・乾燥) ・冬の日 ・進学に向けて |
| 2月 | | | | | | |
| 3月 | | | | ・保健計画の評価・検討 | ・空気清浄機点検・整備 ・空気清浄機の配布 (全園児) | * 保険証・乳幼児受給者証 (埼玉土建・卒園・退園児返却) |

2020年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 全体的な計画

| 保育指針のポイント1 環境を通じて行う | | 保育指針のポイント2 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育指針のポイント3 養護と教育の一体的の展開 | |
|----------------------------------|--|---|--|--|--|
| 保育理念 | | 1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域との連携をする 5. 保護者の支援を行う | | 人園式 秋祭り(ワークショップ) よさこい祭り 親子ふれあい遊び会 ハロウイン ワインターフェスタ 成長フェス 梅まつり 卒園式 | |
| すまいる保育園の目標 | | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子) | | | |
| 平成31年度の保育テーマ | | 自然に驚き、自然に学び、自然に感謝する | | | |
| 家族の状況及び保護者への支援・地域の実態との関わり | | | | | |
| 衛生・健康 | 内科検診(2回)歯科健診(1回) 害虫駆除、歯磨き指導、手洗指導、消毒 | 毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回) 普選救命急救講習、土台等の確認 いのちのリスト、マニュアル・カタログの活用、不審者訓練(警察指導) | 近隣小学校との交流(焼き出しなど)、学校訪問、連絡会議 井上先生(環境)、青木先生(食事)、富山先生(トミーの日)、CCW(保坂先生)、資質向上勉強会(加藤先生)、すまいる委員会・ワーキングチーム、園内研修・園外研修、GT、臨床教育研究会、キャラアップ研修、自己評価制度 | 主な行事 幼児期の終わりまでに育つてほしい姿 | |
| 保育の目標・内容 | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | |
| 保育目標 | | | | | |
| 生命の保持 | 0歳児前半 | 0歳児後半 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 |
| | ・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする ・健康的な心からして、安全で快適な環境の中で、身の回りのことをつくづくする。 ・一人一人の生活リズムを大切にしつつ個々に応じた活動を通して、自分の心から出来ることから、生理的欲求を十分満たす。 | ・健康的な心からして、安全で快適な環境の中で、身の回りのことをつくづくする。 ・環境で安全な生方に必要な習慣が身にから出来ることから、心から出来ることから、環境で安全な生方に必要な習慣を身に付けるように見守り育む。また、心から出来ることから、環境で安全な生方に必要な習慣を身に付けるように見守り育む。 | ・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちや考え方を受け止め、一人ひとりの気持ちや考え方を尊重する。 | ・自己の気持ちや考え方を尊重する。 ・子どもの気持ちや考え方を尊重する。 | ・自己の気持ちや考え方を尊重する。 |
| 情緒の安定 | ・自分から離れないことから、安心よく安心できる関係をつけていく。 ・要求や愛着行動をしつつ、自分から離れないことから、安心して自分の気持ちを尊重するようになる。 | ・要求や愛着行動をしつつ、自分から離れないことから、安心して自分の気持ちを尊重するようになる。 | ・身の回りの事を自分からしないことから、身の回りの事を自分からしないこととする。 | ・身の回りの事を自分からしないこととする。 | ・全身を使って遊ぶ。様々な道具や遊具や玩具を楽しむ。・全員で安全な生活を必要とする。・安全と安心を保つために、常に見守り育てる。 |
| | ・心身の発達 | ・心身の発達 | ・心身の発達 | ・心身の発達 | ・心身の発達 |
| 人間関係 | ・自分の心と体を育てる。 ・身近な人との体を動かす。食べるなどを楽しむ。 ・のびのびと歩くことを楽しむ。 ・十分に午睡をする。 | ・簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びのことで十分体を動かしたり、戸外を十分歩く。 | ・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して遊ぼうとする。 ・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して遊ぼうとする。 | ・身の回りの事の事を自分からしないこととする。 | ・友達と一緒に遊ぶ中で、協力して物事をやり遂げる大切さや先実感や地図の人々に親しみを持つ。 |
| | ・社会的発達 | ・社会的発達 | ・社会的発達 | ・社会的発達 | ・社会的発達 |
| 言葉 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・社会生活との関わり |
| | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身近な人との関係を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・思考力の芽生え |
| 環境 | ・精神的発達 | ・精神的発達 | ・精神的発達 | ・精神的発達 | ・自然とのかかわり・生命尊重 |
| | ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持った、遊びのことで十分体を動かす。食べるなどを楽しむ。 | ・自然とのかかわり・生命尊重 |
| 表現 | ・表現 | ・表現 | ・表現 | ・表現 | ・言葉による伝え合い |
| | ・食べ物や米菓に興味を持ち食する。 | ・食べ物や米菓に興味を持ち食する。 | ・食べ物や米菓に興味を持ち食する。 | ・食べ物や米菓に興味を持ち食する。 | ・豊かな感性と表現 |
| ツール | | | | | |
| 発達確認(CCW・ポートフォリオ)、指導案、園バス、タブレット | | | | | |

2020年度保育計画(乳児用)

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | |
|------------|--|---------------------------------|--|--------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育目標 | <th>保護者支援</th> <td><th>主な行事</th><td></td></td> | 保護者支援 | <th>主な行事</th> <td></td> | 主な行事 | |
| 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人格尊重 3. 適切な発達支援 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | | | | | | |
| すまいる保育園の目標 | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子) 人と関わることが大好きな子) | | | | | | |
| 保育の目標・内容 | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育のねらい | 保育のねらい | 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる | 身近な人と気持ちが通じ合う | 身近なものと関わり感性が育つ | 生きる力の基礎を育む |
| 4月 | 保育土等による愛情のこもった応答的な関わりによって心身共に満たされ穏やかで安定した生活を築く | 保育者と一緒に保育者と関わることで興味をもつて楽しむ | 保育者とともに手を伸ばす | 様々な手の道具に手を伸ばす | 操作できる玩具、人形、箱と小物、ボール、型はめ、ガラガラ、小物玩具、積み木、楽器 | きめ細やかな連絡を取り合い、信頼関係を築く | 生きる力の基礎を育む |
| 5月 | 様々なものに興味を持ち見つめたり、手に取つたりする | 室内、室外で十分に身体を動かす(マラカス、鈴、風鈴、太鼓など) | 身体の動きや表情、発生、暗語等 | 身体の回りのものに対する興味や好奇心を持つ | 玩具や絵本など、身の回りのものに対する興味や好奇心を持つ | 運営のお願い移行について伝える離乳食について伝える | 協同性 道徳性・規範意識の芽生え |
| 6月 | 室内、室外で十分に身体を動かす(太鼓筒・マット等) 少しずつ水になれ親しむ | 安心した雰囲気の中で授乳・食事をする | 友達や少し年上の子の存在に気付く | 日差し、影、風、雨を感じる自然物と触れ合う | 保育参加について伝える懇談会 | 6月～9月 保育参加 社会生活との関わり 思考力の芽生え | 自立心 社会生活との関わり 思考力の芽生え |
| 7月 | 室内で十分に身体を動かす | 安心した雰囲気の中で授乳・食事をする | 友達や少し年上の子と関わる | 様々な色、感触に出会う | 夏の感染症の注意喚起 | 7夕 大井まつり | 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 自然とのかかわり・生命尊重 数量・图形・文字等への関心、観察 |
| 8月 | 室内で十分に身体を動かす 絵の具、筆、クレヨンを触れる 様々な感触を知る(水、水等) | 室内で十分に身体を動かす | 友達や少し年上の子と自ら関わる | 様々な色、感触を楽しむ | 異年齢保育を伝えていく 移行について伝える | | 豊かな感性と表現 |
| 9月 | 異年齢との関わり テラスや園庭探索 水遊び | 室内、室外で十分に身体を動かす | 友達や少し年上の子と自ら関わる | 様々な色、感触を楽しむ | 秋祭り(仮) | | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 |
| 10月 | 園外へ散歩に行く 様々な香りを知る | 室内、室外で十分に身体を動かす | 保育者と手をつなぐ | 園外の環境に出会う 様々な香りを知る | | | ふれあい遊び会 ハロウィン |
| 11月 | 秋の自然に触れる 音楽に合わせて身体を動かして楽しむ | 室内、室外で十分に身体を動かす | 保育者や友達の動きを真似す | 秋の自然に触れる | | | 焼いもウイーク |
| 12月 | | | | 落ち葉、花、枝、虫、砂、土、草 | | | ウインターフェスタ |
| 1月 | | | | | 懇談会 | お正月 伝統文化ウィーク | |
| 2月 | | | | | | 節分 梅まつり | |
| 3月 | | | | | | ひな祭り 卒園式 | |

※途中入園の子に対しては月齢によりさかのぼってねらいを立てる

2020年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 保育計画（1、2歳児）

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | | | | | |
|-----------|---|--|---------------------------|-----------------------------------|--|---------------------------|-----------------------|--------------------------------------|------------------------|-------------------------------|---------------|
| 保育目標 | 内容 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育目標 | | 生きる力の基礎を育む | | | | | |
| 保育理念 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な差別撲滅 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | 自分のことが好きな子、自分自身が大きく成長する | | 自立心を育む(体を使うことの大好きな子、頭を使うことの大好きな子) | | 生きる力の基礎を育む | | | | | |
| 保育方針 | すまいる保育園の目標 | 自分のことが好きな子、自分自身が大きく成長する | | 自立心を育む(体を使うことの大好きな子、頭を使うことの大好きな子) | | 生きる力の基礎を育む | | | | | |
| 保育の目標・内容 | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育のねらい | 健 康 | 人間関係 | 環 境 | 言 詞 | 表 現 | 保護者 支援 | 地域連携 | 主な行事 | 10の姿 |
| 4月 | ・好きな遊びを男遊びで楽しむ。 -新入園児の園庭や室内でゆっくりと過ごし、安心して保育園での生活に慣れしていく。 | 保育者と一緒に歩く 菜園を登る | 泥棒・タイヤ 身辺見守り遊び | 泥水の感触、 手遊びなどの練習 | 泥水の感触、 手遊び・歌 音の鳴るもの | 泥水の感触、 手遊びなどの練習 | 泥水の感触、 手遊びなどの練習 | 家庭状況の把握 園庭遊び(服の汚れ等) | 地域への移動 | 入園式 | 健康な心と体 自立心 |
| 5月 | ・保育者に見守られながら、さあさまで工夫し集中して遊ぶ ・草花や昆虫などに触れ、自然に親しむ | 野菜の種類を切る 道具や道具遊び 夏野菜の苗を植える | 夏野菜の苗を植える 虫、草花、大きいのぼり | 保育者や他児との言葉 での伝え合い | 保育者や他児との言葉 での伝え合い | 夏野菜の苗の購入 レインコートの旅館 | 夏野菜の苗の購入 レインコートの旅館 | 聖闘会への参加 お弁当の詰め物(量や持ち物の説明) | クラス懇親会 子どもの日 | 協同性 道徳性・規範意識の芽生え | |
| 6月 | ・梅雨の時期を快適に過ごしながら自然に興味開拓心を持つ ・保育者等に手伝つてもらいながら自身の回りの事を行つ | レンコンorteを着る 自ら衣類を脱ぐなど 小さな高台に登つうとする | シャボン玉 水・選択遊び タンク虫塗装 | 感じたことを言葉にする | 田んぼでも戸外で 遊びを楽しむ | 保育参加 | 消防署との連携 | 社会生活との関わり 思考力の芽生え | 内科検診 歯科検診 総合防災訓練 | 社会生活との関わり 思考力の芽生え | |
| 7月 | ・保育者や他児と関わりながら、水遊びなどの夏の遊びを充分に楽しむ | 充分に身体を動かす気持ちはさを知る 身体を拭こうとする | 生命の不思議さ 笠の葉 地図のお祭り | 見て类似しようとすると | 田んぼで身体を動かす 音楽に親しみ帽子をついたりするなど楽しさを味わう | 水遊び | 水遊びにおける準備、安全対策 | 夏の豊かな遊び 家庭体験の理解を促す ふれあい遊び会への参加 | 七夕 大井祭り | 自然のかかわり・生命尊重 教養・图形、文字等への興味 | |
| 8月 | ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす ・全身を使って外・室内での遊びを楽しむ | 夏野菜の収穫と整理 食べ物への興味開拓 サービスキット遊び | 泥水などの簡単な交流 | 泥水などと同じ遊びをしようとする | 泥水などの簡単な交流 | 泥水 | 泥水 | 夏の豊かな遊び 家庭体験の理解を促す ふれあい遊び会への参加 | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 | |
| 9月 | ・気つけしたこと、感じたことなどを簡単に言葉で表現し ・他児と一緒に遊びを楽しむ | 近づく降園まで散歩 | 泥水などの簡単な交流 | 泥水などの簡単な交流 | 泥水などの簡単な交流 | 泥水 | 泥水 | 敬老の日 | 敬老の日 | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 | |
| 10月 | ・行事などを通して地域の方との交流を深める ・自分の思いや気持を相手に伝えようとする | 泥水遊び カバン・おやじ作り ハロウィンでの地域の住宅を訪問する | 泥水遊び ハロウィンで地域の住宅を訪問する | ドリンクオートリート 言葉の書き写し | 自分の好きな衣装 好きな色や形 | 火薬の煙と匂い 炎の色、熱さを 感じる | 焼き芋 平金 | 災害時の緊急連絡 の確認 | ハロウイン 帽子ふれあい遊び会 | ハロウイン 帽子ふれあい遊び会 | |
| 11月 | ・考え方を伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる | 焼き芋の匂い・形・味 | 泥水 | ドングリ 松ぼっくり 落葉 | 泥水 | 泥水 | 泥水 | 泥水への参加 ベストなどの準備の依頼 | ウインターフェスタへの 参観 | お餅つきボランティア お餅つき | |
| 12月 | ・保育者や他児と接觸などの簡単な言葉の練習や やり取りを楽しむ | 友だちや保護者と 共に時間を使いこなすことの遊びを味わう | 帽子で製作を楽しむ | バス活動 | | | | | | | |
| 1月 | ・身の回りの事を自分でしようとする ・雪・水などを使った遊びを通して冬の自然に親しむ | 雪や氷の冷たさを感じ 正月遊びを楽しむ | | | 正月あそび 園庭の雪と自然の変化 | | | 聖闘会にて来年の 備品や見通しを決める 袋を伝える | 正月あそび クラス懇親会 | 節分 | |
| 2月 | ・戸外・室内共に全身を使って遊ぶことを楽しむ ・少し先の見通しを持ちながら生活したりする | 雪遊び(雪探し等) | | | | | | | | | |
| 3月 | ・気の合った他児と遊ぶことを楽しむ ・見立て遊びやごっこ遊びをして、保育者や他児と言葉のやり取りを楽しむ | ひなまつり 考えたりする | ひなまつり 工夫したりする | ひな壇を近くで見る 工夫の形を作る | | | | 一年間の成長を 喜び合う | ひな祭り | | |

令和2年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 保育計画（3歳以上児）

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通じて行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | |
|------------|--|---|---|--|--|---|---|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | 保育目標 | 生きる力を育む |
| 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人格尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子) | 『オリエンピックを楽しむ』～世界のさまざまな生活・文化(多様性)を知り、異文化と共生する力を育む～ | 『オリエンピックを楽しむ』～世界のさまざまな生活・文化(多様性)を育てる・工夫する力を育てる | 氣付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しむ力を育てる | 人間関係 | 環境を育む |
| すまいる保育園の目標 | 令和2年度の保育テーマ | 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育のねらい | 健 康 | 人間関係 | 環境 | 言 語 |
| 4月 | ・好きな遊びを見つけて、友だちや保護者と一緒に楽しむ ・身近な春の自然に触れ興味をもつ | いろいろな遊びの中で自分たちが楽しむ遊びの選択をする 自分で考え自分で行動する | 観葉園中央公園の桜足元の草花 足元の草花 | 別の会いやお金の金を貯めたりを楽しむ 絵本や物語に親しむ | 運動体験を増やす 身近な環境十方に親しむ | 子どもの日の桜の絵本の伝達と共に 桜の伝統と共有 | 発達・発育センターの入所や運営機 びらんしゃん体操 |
| 5月 | ・好きな遊びを見つけ、さまざまに楽しむことを知る ・友だちとの遊び方を広げ、一緒に楽しむことを知る ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ | 野菜の種類を知る 野菜中庭について知る オリエンピック競技を知る | 園庭土台、室内のロフト、 窓際の木の椅子 | お庭屋さんとの対話。 お庭屋さんとの対話。 | 雨とい、平均台を さまだかな公園を | 連休中の様子の伝え合い 連休への参加 | 夏野菜の苗の購入 (精七画面) |
| 6月 | ・友だちと共通の目的をもつて遊び、遊び十人に楽しむ ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ | ・自分の愛顧に ・輪郭の中庭を持つ。 遊び方を工夫する。 | 野菜を作るという 共通の目的に向けて 展示説明する。 | 植物の特徴 アゲハ蝶の幼虫 ダゴ田んぼ 水遊び | 煙草活動について 気付きながら見を伝え 合う さまざまな国の スポーツを見る | 運動会、保護参加(保護者の 監視)の状況 大井まつり(よこい) 大井まつり(はない) への参加、踊りの練習 | 大井まつり(よこい) 団員の先生を招く 団員の先生を招く 消防署との連携 |
| 7月 | ・友だちと共通の目的をもつて遊びが中で、自分の思ったことを相手に伝える ・夏の遊びを行なうことを楽しむ | 十分に体を動かす 気持ちはさまで 夏の感覚遊びについて 知る | 野菜を作ると 用具を使う (竹を切る) | 伊佐沼サリガニ釣り | 短冊にお願いを書く 文字で伝える業さ 表現してみる | 水遊びにおける準備 安全知識 | 地城の方から竹を招く 踊りの先生を招く |
| 8月 | ・友だちと共通の体験をすることことで、イメージを共有しながらさまざまに遊びを楽しむ ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす | 夏野菜の収穫と整理 食べ物への興味心 (世界の料理) | 共通の目的の実現 に向かって野菜の 練習をする | アゲハの羽化 西中島公園のドングリの出来始め 各公園のひまわり、朝顔の種 | 踊りを通じて 心を通して | 音楽に親しみ歌子 を歌つなど 楽しむを味わう | 夏の感染症の注意喚起 上福岡七夕祭りへの参加 |
| 9月 | ・気づいたことに、感じたことなどをさまざまなお方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ | 親子で体を動かす 気持ちはさまで練習する (オリエンピック競技) | 高齢者をはじめ 地城の人に関心し 近隣施設訪問 | 名前、顔 色大きさ 水の色 | 団鑑を使つて覗べる 名前、顔 | 感染症に対する 心地よいことや考え方 を感じるなど 楽しむを味わう | 秋祭り ふれあい大会への 参加 |
| 10月 | ・気づいたことに、感じたことなどをさまざまなお方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ | 安全な生活に必要な習慣を身につける 世界食糧DAY 食の大切さに気づく | ハロウインで地域の 沿道を歩く子供たちの生え | トックオクトー 賞業の書きや 映像表示させ させて伝え合 | 自分の手がまだ達を さまで大きな素材を 工夫する | 消防署との連携 消防署との連携 ハロウインワーク 図書館へいこう | お月見(10/1) 北本自然観察公園 ハロウイン 総合防災訓練 消防隊へいこう |
| 11月 | ・友だちと共通の目的をもつて遊び、お互いの考え方や思いを伝え ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる | 安全な生活に必要な習慣を身につける 世界食糧DAY 食の大切さに気づく | 焼き芋会をする 一緒に活動し 賞味をもつ | けやの森の林遊び 西中島公園のイチョウ 色、大きさ 量 | 炎火の煙と臭い 炎の色、熱さを 感じる | 消防署への参加 焼き芋会への参加 | 消防署ワーク (最近は仕事の参画) 焼き芋 智光山公園 |
| 12月 | ・友だちと一緒にから活動に取組むが、安心感や満足感を味わう ・季節の行事や伝統文化に触れ。興味・関心を深める | 米の種類 产地 買い物 炊飯芋の 匂い、色、形 | 焼き芋で創作を楽しむ 家族を大切に思う | ベーパート人形劇 演じて遊ぶ | さまざまな素材を 使い、衣装を 発展させる | ウインターフェスティ バルお餅つき | |
| 1月 | ・自分のやりたいことにして自尊心をもつて積極的に取り組む ・季節の行事に親しみ、その意味や由来に興味、関心をもつ | 近隣保育園との交流 環境意識の芽生え | 正月あそび 伝統的な遊びに 関連の意味は 自然の変化 | 正月遊びを楽しむ (抽選回し、耶相撲 十二支の手作り紙) | 冬の感染症についての 注意喚起 | 伝承あそび会 風あおげ | |
| 2月 | ・自分のやりたいことにして自尊心をもつて積極的に取り組む ・冬にふさわしい生活の仕方を知り、健康に気をつけて生活する | 部分の絵本を通し 筋肉や骨密度を考える | 絵本や物語に 親しみ、想像を 巡らせたり、言葉の リズムを楽しむ | 絵本の絵本の風の音 (基本の新井の 色など) | 聖職全への参加 保育園の相互理解 | 小学校訪問 幼稚園会 小保育園会 | |
| 3月 | ・進級・就学への期待をもつて生活する ・友だちと共通の目的をもつて遊ぶ中で、お互いの考え方や気持ちを伝え合い、自信や信頼感を高めていく。 | 交通工具(交通安全金額)を身に につけ(交通安全金額)を身に つけ(交通安全金額)を身に つけ(交通安全金額)を身に | 向かってお話しする 工夫したりする | 小さな話を飾る 伝統文化に 触れ | 一年間の成長を喜び合う | ひな祭り 卒園式 | ふじみ野市交通安全 紙芝居 |

| | | | |
|--------|-----|----|----|
| 園長 | 副園長 | 主任 | 担任 |
| R20309 | | | |

2020年度教育計画(乳児用)

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | | |
|----------------|--|---|--|------------|---|-------------|--|--|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のこが出来る子 | | | 生きる力の基礎を育む | | | | |
| 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | | | 生きる力の基礎を育む | | | | |
| すまいる保育園の目標 | | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子) | | | 生きる力の基礎を育む | | | |
| 平成31年度の保育テーマ | | 自然に驚き、自然に学び、自然に感謝する | | | 生きる力の基礎を育む | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる | | | 生きる力の基礎を育む | | | |
| 食育のねらい | | 健やかに伸び伸びと育つ | | | 身近な人と関わり感性が育つ | | | |
| 4月 | | ミルクを飲みたい時に飲みたいだけ飲む ・一人一人の状態に合わせ、離乳食を進め ・離乳食を喜んで食べる | | | 身近な人と関わり感性が育つ ・ゆったりと授乳が行えるよう にする | | | |
| 5月 | | ・離乳食を喜んで食べる ・手づかみで自ら食べようとする ・水分をしつかりとする | | | ・食事の挨拶を真似ようとする ・季節の食材に触れる(烟活 動含めて) ・クッキングの雰囲気を楽しむ (絵本、写真、参加、見る等) | | | |
| 6月 | | ・様々な食材や味、形状に慣れる ・水分をしつかりとする | | | ・手づかみで食べようとする ・口を動かし、よく噛んで食べる ・離乳食の形状を確認し、ミ ルクの量・時間帯の調整をし ていく ・水分補給をしつかり行う | | | |
| 7月 | | | | | ・エプロン、口拭き(食器)の片 づけ(個々の様子に応じて) | | | |
| 8月 | | | | | | | | |
| 9月 | | ・様々な食材をよく噛んで食 べる ・自ら手を伸ばして食べようと する | | | ・友達や保育者と一緒に楽し く食事をする | | | |
| 10月 | | | | | | | | |
| 11月 | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | |
| 1月 | | | | | | | | |
| 2月 | | | | | | | | |
| 3月 | | | | | | | | |
| 保育指針ポイント1 | | | | | | | | |
| 保育理念 | | | | | | | | |
| 保育方針 | | | | | | | | |
| すまいる保育園の目標 | | | | | | | | |
| 平成31年度の保育テーマ | | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | | | | |
| 食育のねらい | | | | | | | | |
| 4月 | | ・ミルクを飲みたい時に飲みたいだけ飲む ・一人一人の状態に合わせ、離乳食を進め ・離乳食を喜んで食べる | | | ・一人一人のリズムに合わせ ・ミルクを飲む ・咀嚼の様子を観察し、適宜 声を掛けていく ・食べ物に興味を持ち、手を 伸ばす ・手づかみで食べようとする ・手づかみで食べようとする ・離乳食の形状を確認し、ミ ルクの量・時間帯の調整をし ていく ・水分補給をしつかり行う | | | |
| 5月 | | ・手づかみで自ら食べようとする ・水分をしつかりとする | | | ・食事を見たり触ったりする(食材活 動含めて) ・季節の食材に触れる(烟活 動含めて) ・楽しい雰囲気の中で食事が できるようにする | | | |
| 6月 | | ・様々な食材や味、形状に慣れる ・水分をしつかりとする | | | ・手づかみで食べようとする ・口を動かし、よく噛んで食べる ・離乳食の形状を確認し、ミ ルクの量・時間帯の調整をし ていく ・水分補給をしつかり行う | | | |
| 7月 | | | | | ・エプロン、口拭き(食器)の片 づけ(個々の様子に応じて) | | | |
| 8月 | | | | | | | | |
| 9月 | | ・様々な食材をよく噛んで食 べる ・自ら手を伸ばして食べようと する | | | ・友達や保育者と一緒に楽し く食事をする | | | |
| 10月 | | | | | | | | |
| 11月 | | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | | |
| 1月 | | | | | | | | |
| 2月 | | | | | | | | |
| 3月 | | | | | | | | |

鶴ヶ岡すまいる保育園2020年度食育計画(1、2歳児)

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | |
|-----------------------|---|--|---|---|--|--|---|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達支援 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | | |
| すまいる保育園の目標 | | | | | | | |
| 平成31年度の保育テーマ | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | 健 康 | 人間関係 | 環 境 | 言 話 | 表 現 | 保護者支援 | 地域連携 |
| 食育のねらい | | | | | | | |
| 4月 | ・新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする ・食材に触れる経験や体験を通して、五感の働きを豊かにする | 「保育や友達と一緒に野菜を食べる(キンキン)」 ①居房の人との関わりを通して、野菜や畑活動への期待を高める ・食事を通して食材の硬さや食感の変化に気付き、よく噛むようにする | 「季節の食材の下処理を手伝う」 ①キャラバンῆース、そり豆の皮むき(形、大きさ) ②季節の畑の匂いの中で食材に触れる。 ③他職種や地域の方との関わりの中で食材や環境に興味を持つ | 年間を通して「食材の名前を知る。」 ・「おまきごどを沂へ」 ・「身に近い人の様子を写す」 ①簡単な言葉で自分が感じたことを表現する。 | ・年間を通して「食事の味を楽しむ。」 ・「おまきごどを沂へ」 ・「身に近い人の様子を写す」 ①簡単な言葉で自己紹介をする。 ・「身に近い人の様子を写す」 | ・食歩を通じて農家さんへ ・接客をして畠への興味を持つ ・お花見 | ・八國式認定の食事の味を味を持つ ・お弁当のお願い ・「子ども」の日 ・ハナバナ(お茶) |
| 5月 | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 6月 | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 7月 | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 8月 | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達や保育者と一緒に欲的に楽しく食べる順を発達していく、身につけていく畑の活動を通して、夏野菜に興味を持った野菜を喜んで食べる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 9月 | ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べられる | ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べられる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 10月 | ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる | ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 11月 | ・絵本やぬりえなどを通して畠の野菜や旬な食材に興味を持ち、様々な方に気付く方法で楽しむ | ・絵本やぬりえなどを通して畠の野菜や旬な食材に興味を持ち、様々な方に気付く方法で楽しむ | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 12月 | ・食事前後の身度を自ら進んでしようとし、友達と一緒に着いて食事をする | ・食事前後の身度を自ら進んでしようとし、友達と一緒に着いて食事をする | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 1月 | ・年明けうどん | ・年明けうどん | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 2月 | ・世界、家庭の料理 | ・世界、家庭の料理 | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |
| 3月 | ・お別れ会 | ・お別れ会 | ・お友達と一緒に野菜を洗う | ・よく噛んで食べる | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー | ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー ・虫歯予防デー |

2020年度 食育計画 (3~5歳児)

2020年度 安全年間計画

鶴ヶ岡すまいる保育園

| 月 | 安全関係行事 | 子どもへの働きかけ | 園内・園外研修、職員周知 | 環境 |
|-----|-----------------------|---|--|--|
| 4月 | 避難訓練 バスの避難訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 安全パトロール 地震、火災が起こしたら 野外調理の安全 毒のある植物、生き物 | <ul style="list-style-type: none"> SIDS 誤飲・誤嚥 にこちゃんマニユアル バス乗車マニユアル すまいいるカード強化 災害伝言ダイヤル（毎月） SIDS強化目録 熱中症について 虫の危機 帽子の大切さ 蜂について | <ul style="list-style-type: none"> いのちのリスト（毎日） ビヤリハット（毎月） 気付きボード（毎月） 嘔吐処理備品確認 防災設備の確認 （セコム・非常火災） |
| 5月 | 避難訓練 不審者対応訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 熱中症の危機 帽子の大切さ | <ul style="list-style-type: none"> 虫（ Dengue熱など）、毛虫など 蜂について | <ul style="list-style-type: none"> 熱中症指數掲示 虫よけの準備 |
| 6月 | 総合防災訓練 子どもがなくなった訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 園外活動での蚊 水遊びのルール | | |
| 7月 | 避難訓練 | | <ul style="list-style-type: none"> 竜巻について | |
| 8月 | 避難訓練 | | | |
| 9月 | 避難訓練 | | <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時のマニュアルの周知、確認 | <ul style="list-style-type: none"> 非常食、非常用品確認 |
| 10月 | 総合防災訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 野外調理の安全 | <ul style="list-style-type: none"> 普通救命講習 | |
| 11月 | 避難訓練 子どもがなくなった訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 衣服の安全、調整 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症について インフルエンザ、嘔吐処理 SIDS強化目録 | <ul style="list-style-type: none"> 加湿器 ・嘔吐処理備品確認 |
| 12月 | 避難訓練 不審者対応訓練 | | | |
| 1月 | 避難訓練 | | <ul style="list-style-type: none"> 虐待について | |
| 2月 | 避難訓練 | | | |
| 3月 | 避難訓練 | | | |

2020年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2020.2月更新(看護分科会作成)

| 月 | 担当園 | 保健目標 | 毎日・毎月・随時 /看護分科会 | 子どもへの働きかけ ／保健行事 | 園内研修・職員周知 | 家庭・地域との連携 |
|-----|-----|--|---|---------------------------------|---|---|
| 4月 | 伊佐沼 | 進級・入園に伴う環境の変化に備える（生活リズムを整える・園での生活に慣れる） | <毎日> ・視診（体調不良の早期発見） ・触診検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児・けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理・補充 ・内服状況の把握 | <毎月> ・入園時健診 <毎月> ・身体測定 | <ul style="list-style-type: none"> 環境の変化に伴う事故発生に留意する 戸外活動の注意点（熱中症・けが） 新入園児のSIDS /SUDIの注意喚起 看護分科会からの連絡事項 感染症への注意喚起 | <ul style="list-style-type: none"> 4月：園生活、熱後、感染症別紙配布 ・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・靴の必要性（3歳未満） ・発熱時の対応（適時） |
| 5月 | 鶴ヶ岡 | 手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ | <毎月> | <毎月> ・身体測定 記録 | <ul style="list-style-type: none"> ・虫よけ対策（11月まで） ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策 ・虫歯予防デー ・歯みみがき指導（3歳以上） ・内科健診 ・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭調査票の提出・確認・活用 ・基礎疾患、個別配慮、アレルギーなど ・基準の把握（適時） ・体調変化に伴う連絡（目安・緊急時等） ・保護者連絡の場所、キッズリーでの配信 ・予防接種状況把握・CCW入力 ・保険証・乳児医療受給者証の期限把握（全園児） |
| 6月 | 3丁目 | 感染症に注意する 齒を大切ににする | 7月 | 暑さに負けず、元気に過ごす | 8月 | 9月 |
| 10月 | | けがに気をつけ、体を動かす | 11月 | 体を動かすこと楽しくする | 12月 | 1月 |
| 2月 | | 寒さに負けず外遊び楽しむ（体づくり） | 3月 | 耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する | | |
| | | | | | | |

2020年度 高階すまいる保育園 全体的な計画

| 保育指針のポイント1 保育理念 | 環境を通じて行う | 保育指針のポイント2 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 養護と教育の一体的展開 |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 保育方針 する保育園の目標 | 1. 指針に基づく保育を行う 2. 子どもの人権を守る 3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする 5. 保護者の支援を行う | 自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子) | 自分のが好きな子 自分のことが出来る子 |
| 2020年度の保育テーマ | 『オリンピックに親しむ』～世界のさまざまな生活・文化(多様性)を知り、異文化と共生する力を育む～ | 家族の状況及び保護者への支援・地域の実態との関わり | 主な行事 |
| 衛生・健康 | 安全対策 | 小学校との連携 近隣小学校との交流(炊き出しなど)、学校訪問、連絡会議、中学生ボランティア | 人園式 親子ふれあい遊び会 川越祭り ハロウイン ワインターフェスタ 成長展 卒園式 |
| 保育の目標・内容 育みたい資質・能力の3つの柱 | 保育目標 0歳児前半 0歳児後半 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 | 1. 気付く力 2. 工夫する力 3. 楽しく頑張る力 | 幼児期の終わりまでに育つほしい姿 |
| 養護 生命の保持 情緒の安定 | ・嬰兒・睡眠・排泄など心地よく感じられる環境において、自分の活動を通して自己に必要な食事等を十分満たす。 ・目を合わせ表情豊かに開けながら、心地よくしてできる限りの行動を發揮する。 ・心身の発達 ・心身の発達の基盤を培う ・人と関わる力の基盤を培う ・社会的発達 ・環境 ・表現 ・言葉 | ・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする ・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でどうぞする気持ちを見りながら援助をする。 ・要求や愛情を表現し、自分の気持ちを表せるようになる。 ・自分の回りの事を自分からしめたり、身を使って遊んだり、戸外を十分歩く。 ・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友達との関係を築いていく。 ・保育者が心立ちとして、友達と一緒に取り組むなど、開かれていたり、声によく聞かれていく。 ・身近な人とのコミュニケーションや感情、発声により気を遣う。 ・身近な人にとの存在に気付く。 ・身近な自然や事物に興味や関心を持ち、身近な環境に親密に遊ぶ。 ・身の回りの物の色・量・形などを観察する。 ・身近な自然や事物に興味や関心を広げる。 ・身の回りの物の色・量・形などを観察する。 ・身の回りの物の色・量・形などを観察する。 | ・生理的欲求が十分満たされたときに、生活できるようになります。 ・健康で安全な生方に必要な習慣を身につけること、また、身につけておこなうことで、より安全な生活を送ることができます。 ・子どもの気持ちはや考へを重ねかねないが、自分で自分の気持ちを表現する。また、自分の気持ちを理解できるようになります。 ・子どもの気持ちはや考へを重ねかねないが、自分で自分の気持ちを表現する。また、自分の気持ちを理解できるようになります。 ・自分の思いを伝えて遊ぶ。様々な遊びを使ったり、身に付けて遊ぶ。 ・友達と一緒に遊んで遊ぼうとする。自分できることで自分の思ひを伝えようとする。 ・自分の思いを伝えたり、相手の話を理解する中で自分の思いを伝えようとする。 ・自分の思いを伝えようと、自分の経験を共有しやすくなる。 ・自分の思いを伝えようと、自分の経験を共有しやすくなる。 ・自分の経験を共有しやすくなる。 ・自分の経験を共有しやすくなる。 ・自分の経験を共有しやすくなる。 ・自分の経験を共有しやすくなる。 |
| 教育 人間関係 環境 表現 食育 ツール | ・毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回)引渡し訓練 ・普通救命急救講習 ・いのちのリスト、マニユアル・カイダンスの活用、不審者訓練(警察指導) | 井上先生(環境)、青木先生(食事)、富山先生(トニーの日)、CCW(保坂先生)、資質向上勉強会(加藤先生)、すまいる委員会、ワーキングチーム、園内研修・園外研修、GT、臨床教育研究会、キャラアップ研修、自己評価制度 | ・親子ふれあい遊び会 ・川越祭り ・ハロウイン ・ワインターフェスタ ・成長展 ・卒園式 |

2020年度 高階すまいる保育園 保育計画(1、2歳児)

| 保育指針ポイント1 | | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 | | 養護と教育の一体的展開 | | |
|---|---|--------------------------------|--|-----------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|---------------|------|
| 保育理念 | 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育方針 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | 保育目標 | 生きる力の基礎を育む | |
| すまいる保育園の目標 | | | | | | | | |
| 保育の目標・内容 | | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | | | | |
| 保育のねらい | | | | | | | | |
| 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる | | | | | | | | |
| 健 康 | 人間関係 | 環境 | 言 語 | 表 現 | 保護者支援 | 地域連携 | 主な行事 | 10の姿 |
| いろいろな遊びを見つけて遊ぶ ・新入園児)やつたりとした緊張感の中で安心して過 ごす | 保育者との信頼関係 で自分に体を動かす を樂くする (形成) | 砂、桟、テラス ダンゴムシ 指先遊び) | 砂水の感触 手遊び・歌 楽器 | 慣れ保育 家庭状況の把握 | 地域の方へ挨拶 | 入園式 | 健康な心と体 自立心 | |
| ・保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ 春の自然に親しみ、 歩き | 奥年齢 同年代 の友達と一緒に お花の種類 虫の種類 | お店の方に挨拶 | 絵の具 クレヨン 葉紙 | 観察会 お弁当の説明 (量・持ち物の説明) | 子どももの日 懇談会 | 協同性 道徳性・規範意識の芽生え | | |
| ・散歩や戸外遊びを楽しむ中で、草花や虫に触れたり 海の時期を快適に過ごしながら、季節の自然に興味や 関心を持つ | 夏野菜の水やり 水・緑の具遊び | シャボン玉 虫 水遊び 水濯遊び | 雨の音 雨の落ちる音 の運いを感じる | 保育参加 | 防災訓練 保育参加 (6月から9月) | 社会生活との関わり 思考力の芽生え | | |
| ・保育者や友達と一緒に身の回りのことをする ・保育者や他児と一緒に水に親しみ、水遊びを楽しむ | レインコートを着る 自ら衣服を着脱 しようとする 衣類の着脱を自分 でしようとする 体をはこうとする | 竹をたたく音 笹の葉の音 | 感染症等の 情報共有 | 地域の方から 竹をいたたく | 七夕 | 自然とのかかわり 生命尊重 数量・図形・文字等への関心・感覚 | | |
| ・土や水に触れながら全身を使って夏の遊びを楽しむ 適切な休息をとりながら、暑い時期は健康で快適に過ごす 休息をとる | 水分補給 涼らか着いたる の中 | 水遊び 水風船 水遊び | 氷の冷たさ、粘土の ぬめりなどに触れる | 家庭休みの理解 を促す | | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 | | |
| ・簡単な言葉で思いを伝える ・他児と一緒に体を動かし遊びなどを楽しむ | | | こっこ遊び(むつくり → | 多世代交流サークル バスで伊佐沼(花畠) | | | | |
| ・行事を通して地域の方との交流を深める ・言葉を使って自分の要求を伝える | 地域の方との交流 (多世代) | 園周り散歩 | | | | | | |
| ・私の自然に触れる ・いろいろなイメージを持ちながら遊び | 西中央公園のイチヨウ (色・葉の手触り) 葉の変化 | トリックオアトリート 言葉の書きかげ使う 美しさ | 自分で好きな 衣装をつくり、行事 を楽しむ | お弁当の依頼 への参加 | ハロウィンサークル 広域連携訓練 | ふれあい遊び会 ハロウィン お月見 | | |
| ・雪遊びや冬遊びも楽しむ | 大人・子ども達と 触れ合う | どんどん 松ぼっくり 落ち葉 | 炎の煙と 匂い、炎の色 落葉を感じる | やきいも金への参加 (鶴ヶ岡) | 労働感謝ウェイクリー 焼き芋 | | | |
| ・積から冬への季節の変化を感じる ・保育者や他児と簡単な言葉の模倣、やり取りを楽し む | 焼き芋の 匂い、色、形 | 身近な仕事を知る (勤労感謝) | 経験したことの 表現(へつらん等) | ウインターフェスタ への参加 | ウインターフェスタ 餅つき | | | |
| ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする ・雪遊びや冬遊びならではの遊びを楽しむ | 地域の方との交流 (コマ名人) | 西中央公園 | コマ遊びを楽しむ | | 伝統文化ウェイクリー | | | |
| ・戸外、室内どちらに全身を動かして遊びしたり活動に参加 したりする | 氷の冷たさ、感触 | 雪柱・氷・雪 | | | | | | |
| ・気の合つた他児と遊びを楽しむ ・見立て遊びやごっこ遊びを通して、保育者や他児と 言葉のやり取りを楽しむ | | | | 絵本や物語に 読み聞かせせる | 観察会にて来年度 の備品や見直しが終わ った。姿を伝える | お正月 | | |
| | | | | | | 消防署見学(バス) | ひな祭り | |

2020年度 高階すまいる保育園 保育計画（3歳以上児）

| 保育指針ポイント1 保育理念 | | 環境を通じて行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | | 保育指針ポイント2 養護と教育の一体的展開 | | | |
|--------------------------|--|---|--|---|---|--|--|
| 保育方針 | | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 | | 保育目標 生きる力の基礎を育む | | | |
| すまいる保育園の目標 | | 『オリンピックを楽しむ』～世界のさまざまな生活・文化(多様性)を知り、異文化と共生する力を育む～ | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 保育のねらい | | 気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しむ力を育てる | | | | | |
| 4月 | ・好きな遊びを見つけて、友だちや保育者と十分に楽しむ ・身近な善の自然に触れ興味をもつ | 「いろいろな遊びの中で自分が体動かす ・望ましい習慣の形成」 ・中止について知る ・オリエンピック種技を知る | 遊びの選択をする 自分で考え 自分で行動する クラスの友だとの 隣係を深める | 新しい園舎に搬入し、む 園周辺の環境を知る プランターで草花や 野菜を育てる | 新の金や物の会話を楽しむ による伝え合いを楽しむ 絵本や物語に親しむ | | |
| 5月 | ・好きな遊びを見つけ、さまざまに工夫し、集中して遊ぶ ・友だちとの関わりを広げ、一緒に楽しむことを知る | ・自分の健康に ・身のまわりの事に ・遊び方を工夫する。 ・十分に体を動かす ・気持ちはよくする ・夏の感覚について ・知る | 野菜を作りたい 目的に向けて 民具飾保する ・手遊びを工夫する。 十分に体を動かす ・気持ちはよくする ・夏の感覚について ・知る | 苗購入の際の対話。 雨の中でも戸外で 楽しめる工夫を 工夫する ・手遊びを知る | 身動体操を増やす 身近な環境に親しむ 隣係を深める | | |
| 6月 | ・友だちと共通の目的をもって遊びごとを喜び、十分に楽しむ ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ | ・野菜を育てるとい う目的に向けて 民具飾保する ・手遊びを工夫する。 十分に体を動かす ・気持ちはよくする ・夏の感覚について ・知る | 梅雨の時雨 幼虫やタコ虫 水遊び | 煙草軒との連携 消防署との連携 | 豊富な国・國旗を 見る(壁紙) 運休中の様子の伝え合い 遠足への参加 | | |
| 7月 | ・友だちと共通の目的をもって遊びぶつ中で、自分の思ったことを相手 に伝える ・相手の思いにも気づく ・夏の遊びを充分に楽しむ | のこぎりなど共同の 用具を使う (竹を切る) | 命の不思議さ ザリガニ釣り | 短冊にお願いを書く 文字で伝える樂さ 生活や衣装を 表現してみる | 豊富な国・國旗を 見る(壁紙) 消防署との連携 | | |
| 8月 | ・友だちと共通の体験をすることで、イメージを共有しながらさまざま な遊びを楽しむ ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす | 夏野菜の収穫と調理 ・食べ物への 興味・関心 ・夏の料理 | 西中央公園の ドッグリの出来始め 色水あそび | 音楽に腹を揺らすなど 楽しむを味わう | 音楽に腹を揺らすなど 楽しむを味わう | | |
| 9月 | ・気づいたこと、感じたことなどをまとめて表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ | 親子で体を動かす ・気持ちはよくする ・オリエンピック種技 | 高齢者をはじめ 地鳴りに親しみ 近隣施設訪問 | 図鑑を使って調べる 名前、量さ 色水の色 | 夏の感染症の注意喚起 上福岡七夕祭りへの参加 | | |
| 10月 | ・気づいたこと、感じたことなどをまとめて表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ | 安全な生活に必要 な習慣、DAY 食の大切さに気がつく 世界食育DAY | ハロウィンで地域の お祭りをする ・運動性の育生え | トックオクトート けやの森の林遊び 西中央公園のイチヨウ 色、大きさ、量 | 火災時の緊急連絡 の確認 自分のがけなな枝を さまざまなもの材を 工夫する | | |
| 11月 | ・友だちと共通の目的をもって遊び、お互いの考え方や思いを伝え ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる | 米の種 产地、真の 体感 焼き芋の 匂い、色、形 | 龍ヶ岡の 焼き芋会に 参加する | 危険やホールに ついては、安全の やりとりを楽しむ | 焼芋の煙と臭い 炎の煙と臭い 煙を楽しむ | | |
| 12月 | ・友だちと協力しながら活動に取組む充実感や満足感を味わう ・季節の行事や伝統文化に触れる。興味、関心を深める | 親子で製作を楽しむ 家族を大切に思う | 木の種や日 大きさに触れる | ペーパーサー人形劇 演じて遊ぶ | さまざまな素材を 使い、衣装を 発展させる | | |
| 1月 | ・自分のやさしいことに自慢をもって意欲的に取り組む ・季節の行事に取り組む | 正月遊び 伝統行事 | 木の種や日 大きさに触れる | 正月遊びを楽しむ (強め)、羽根つき 十二支の折り紙 | ウインターフェスティ バルお餅つき | | |
| 2月 | ・自分のやさしいことに自慢をもって意欲的に取り組む ・冬にふさわしい生活の仕方を知り、健康に気をつけて生活する | 近隣保育園との交流 規範意識の芽生え | 正月遊び 伝統行事 | 冬の感染症についての 注意喚起 | 鶴ヶ岡のお餅つき 書初め(講師に沿う) | | |
| 3月 | ・進級・就学への期待をもって生活する ・お互いの考え方や気持ち を伝え合い、自信や情熱を高めていく。 | 自分の絵本を通して 日常生活に必要な 習慣や感覚を考え る | 向かって言葉を 伝える 工夫したりする | 年間製作 ひな贈を断る 伝統文化に 向かって言葉を 工夫したりする | 伝承会、年 度分 ひな祭り 卒園式 | | |

園長 主任 担任

R20308

2020年度 食育計画(乳児)

| | | | |
|----|----|-----|----|
| 園長 | 主任 | 副主任 | 担当 |
|----|----|-----|----|

| 保育指針ポイント1 保育理念 | 環境を通して行う | | 保育指針ポイント2 保育のテーマ | 養護と教育の一体的展開 | |
|--|---|---|--|---|--|
| | 自分のことが好きな子 | 自分のことが出来る子 | | 自然に響き 自然に学び 自然に感謝する | |
| 保育方針 すまいる保育園の目標 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達支援 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかわわることが大好きな子) | | | | |
| 食育の目標・内容 | | | | | |
| 育みたい資質・能力の3つの柱 | | | | | |
| 食育のねらい | | | | | |
| 4月 ・おなかがすき、ミルクを飲みたいときに飲んで飲む。 ・離乳食を喜んで食べる。 5月 ・一人ひとりの状態に合わせ、離乳を進め る。 | ・身近な人と気持ちが通じ合う ・一人ひとりのリズムに合わせ たつぱりミルクを飲む。 ・咀嚼の様子を観察し、適宜声をかけていく。 ・様々な食材をよく噛んで食べ る。 | ・ゆったりと授乳が行えるようす る。 ・友達や保育者の見守りの中で楽 しく食事をする。 | ・身近なものと繋がり感性が育つ ・食事の時のあいさつを見てまねよ うとする。 ・食に関する絵本の読み聞かせを して、食べ物への関心を高める。 | ・身近な心と体 ・慣れ保育 ・協同性 ・道徳性・規範意識の芽生え | 10の姿 ・慣れ保育の期間に家庭 での状況を聞き取る。 (食物確認表の確認) |
| 6月 ・手づかみで自ら食べようとす る。 ・様々な食材や味、形がわかる。 ・水分補給をしつかり行う。 ・いろいろな食べ物を見る、触る、味わうなど の体験を通して自分で進んで食べようとす る。 7月 ・様子を見ながら普通食(完了食)へ移行す る。 | ・食べ物に興味を持ち、手を伸 ばす。→手づかみで食べよう とする。 ・口をしつかり動かす。→よく噛 んで食べる。 ・離乳食の量とミルクの量を調 整していく。 ・水分補給をしつかり行う。 | ・おなかがすいたら泣く、または嘔 吐によって、ミルクや食べ物を催 促する。 ・個人差に応じて授乳を進めてい く中で、さまざまなお品に少しずつ 慣れ、食べることを楽しむ。 | ・食べ物の玩具に興味を持ち、食事へ の関心を高める。 ・食事の際のあいさつや歌を保育者や 友達と楽しむ。 ・朝でてきた野菜を見たり触れたりす る。(ジャガイモ・玉ねぎ・きゅうり・スイカな ど) ・個々の子どもの発育・発 達状況を把握し、家庭と 連携して個人差に配慮す る。 | ・家庭での離乳の進み具 合など連携をとつていく。 (食物確認表を毎月確認) | ・自然のかかわり・生命尊重 ・日々のおやつを食べる(流しきゅう う・エフフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフフ フフフフフフフフフフ フフフフフフフフフ フフフフフフフ フフフフフ フフフ フ フ |
| 8月 | | | | | 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 |
| 9月 | | | | | |
| 10月 | | | | | |
| 11月 | | | | | |
| 12月 | | | | | |
| 1月 | | | | | |
| 2月 | | | | | |
| 3月 | | | | | |

2020年度 食育計画(1, 2歳児)

| 園長 | 主任 | 副主任 | 担当 |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 保育指針ポイント1 保育理念 | 環境を通じて行う 自分のことが好きな子 自分のことが出来る子 | 保育指針ポイント2 保育のテーマ | 養護と教育の一体的展開 自然に響き 自然に学び 自然に感謝する |
| 保育方針 すまいる保育園の目標 | 1. 指針に基づく保育 2. 人権尊重 3. 適切な発達援助 4. 家庭・地域との連携 5. 保護者支援 自立心を育む(体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子) | | |
| 食育の目標・内容 | 育みたい資質・能力の3つの柱 食育のねらい | 健 康 人間関係 環境 | 言 語 表 現 保 護 者 支 援 地 域 連携 主 な 行 事 10の姿 |
| 4月 ・新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする。 ・保育園の周りにある野菜や食べられる植物に興味を持つ。 | ・保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・煙の野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 ・もっとほしい、もういらないの意思表示ができる。 | ・食材の名前を知る。 ・簡単な言葉で味を表現 ・食事の時の挨拶 | ・ままごと(年齢:家庭の様子の隠す取り入る)、お盆(お盆) ・入園式・どろんこ祭り |
| 5月 ・友達や保育者の見守りの中で、一緒に意欲的に楽しむ食べる。 | ・ツッキングを通してかわる。・果物の匂い、・ジャガイモ(生地)より(一緒に食べる等)・相の成長の様子 | ・おいしい、甘い、ぼく等の言葉 | ・社会生活との関わり 思考力の芽生え |
| 6月 ・スプーンやフォークなどを使って、自分から意欲的に食べる。 | ・蒸しじゃが・スイカ・ナス・キウリ ・プロッリー・かき水・水耕栽培(まつまめ)セリーケーすくい | ・ジャガイモの色や形、感触 ・色、大きさ、感触を表す言葉 | ・自然のかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 |
| 7月 ・食前の手洗い、あいさつなど食生活に必要な手順を発達に応じて、身についていく。 | ・大根の型抜き(大人)形を楽しむ ・福寿丼と米 | ・冷たい感触 ・野菜スタンプ | ・タネみ会 ・添しそうめん |
| 8月 ・夏野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 | ・さつまいも掘り、きのう、柿等、実のなる木への興味、セルフおにぎり | ・粘土で団子つくり | ・月見(日) ・懶れ合い遊び会 |
| 9月 ・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる。 | ・ハロウイン交流 | ・「にぎにぎ」 | ・ハロウインで菓子をもらう ・ハロウイン |
| 10月 ・煙の野菜や保育園の周りにある果物の木に興味を持ち、身近な食べ物を知る。 | ・焼き芋交流 | ・「熱い」等温度を表す言葉 | ・焼き芋交流 |
| 11月 ・収穫した野菜などを様々な方法で楽しく食べる。 | ・大根 ・ち米 ・にんじん ・大根型抜き | ・芋の変化、焼ける匂い ・べつたん ・べつたん | ・七草買物 ・餅つき交流 |
| 12月 ・食べたい物、好きな物が増え、自分で進んで食べようとする。 | ・餅つき交流 | ・もち米の変化、蒸かした匂い ・野菜スタンプ | ・インターフェスタ ・餅つき |
| 1月 ・食前、食後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と楽しく、落ち着いて食事をする。 | ・七草買物 ・豆まき交流 | ・餅の匂い ・冬野菜の色や形、感触 | ・飾り物 ・飾り |
| 2月 ・行事食を通して、日本の行事や食文化に触れる。 | ・豆まき交流 | ・イフシの匂い | ・豆まき交流 |
| 3月 ・食具を持つない方の手で、ちゃんとした食べ方をする。 | ・いなあられ ・ヨモギ | ・麦餅の色 | ・桃の節句 |

2020年度 食育計画 (3~5歳児)

2020年度 高階すまいる保育園 年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2020.2月更新(看護分科会作成)

| 月 | 担当園 | 保健目標 | 毎日・毎月・臨時 /看護分科会 | 園内研修・職員周知 | 家庭・地域との連携 | |
|-----|-----|--|--------------------|---|--|---|
| | | | | | ほけんだより | 保護者連絡・連携 |
| 4月 | 伊佐沼 | 進級・入園に伴う環境の変化に慣れる(生活リズムを整える・園での生活に慣れる) | 子どもへの働きがげ ・星便り車 | ・入園時健康診断 <毎月> ・視診(体調不良の早期発見) ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体温不良兒(けが等)の対応 ・医療機・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 | ・環境の変化に伴う事故發生に留意する ・户外活動の注意点(熱中症・けが) <適時> ・新入園児のSIDS/SUDIOの注意喚起 ・看護分科会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起 ・感染症への注意喚起(3歳未満) ・発熱時の対応(適時) | ・4月:園生活、熱後、感染症別紙配布 ・園での生活 ・清潔について(爪・頭髪) ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性(3歳未満) ・発熱時の対応(適時) |
| 5月 | 鶴ヶ岡 | 手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ | | ・熱中症対策 (帽子・水分補給等) | | |
| 6月 | 3丁目 | 感染症に注意する | | ・身体測定・記録 ・カウフ指教による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、既往歴の把握 ・救急箱・預かり薬のチェック ・安全WTへの参加 ・看護分科会 ・検便検査(職員) | ・熱中症予防 ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策(11月まで) ・歯みがき指導(3歳以上) ・虫刺され(蚊):アロマ虫よけ | ・歯科健診の結果・治療の案内 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され(蚊):アロマ虫よけ |
| 7月 | | 暑さに負けず、元気に過ごす | | ・内科健診 ・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項 | ・夏の感染症 ・皮膚の清潔 ・水遊びの注意(感染・事故) ・水いはば注意 | ・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え *適時、未受診者の通知 |
| 8月 | | | | ・緊急時の対応(救命講習) | ・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣 | |
| 9月 | | けがに気をつけて、体を動かす | | 世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導 ・咳エチケット | ・虫刺され(蜂・毛虫) ・救急の日 ・生活リズム、感染症・発熱時の対応 | ・お弁当への注意(安全WT) *保険証・乳幼児受給者証(ひとり親世帯・国保) |
| 10月 | | 体を動かすことを楽しむ | | ・空気清浄機点検・整備 ・冬の服装(下着の着用) | ・冬の寝具・衣類の切り替え | |
| 11月 | | 薄着の習慣をつけ、丈夫な身体を作る | | ・インフルエンザの欠席について ・内科健診 | ・目の愛護デー ・予防接種(日本脳炎・インフルエンザ) ・冬の服装(下着の着用) | ・内科健診の結果・治療の案内 |
| 12月 | | インフルエンザや風邪の予防に努める | | ・インフルエンザ ・嘔吐セッタなどの備品管理 | ・インフルエンザ ・冬の感染症・予防 ・発熱時の対応 | *保険証・乳幼児受給者証(ひとり親世帯・国保) |
| 1月 | | 寒さに負けず外遊びを楽しむ(体づくり) | | ・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る | ・冬のスキンケア(しもやけ・乾燥) | |
| 2月 | | 耳を大切にする 1年間成長発達を確認する | | ・保健計画の評価・検討 | | |
| 3月 | | | | ・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充 ・身体測定グラフの配布(全園児) | ・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症 | *保険証・乳幼児受給者証(埼玉土建・卒園・退園児返却) |

2020年度 高階すまいる保育園 年間安全計画 * 保健計画と重なっている内容もあります

| 月 | 安全関係行事 | 子どもへの働きかけ | 園内・園外研修 職員周知 | 環境 | 分科会・WT |
|-----|------------------------|--|--|---|----------------------|
| 4月 | ・避難訓練 | ・安全パトロール ・地震・火事が起についたら ・野外調理の安全 ・毒のある植物、生き物 | ・SIDS ・誤飲・誤嚥 ・アレルギー・既往歴の確認 ・植物の危険 ・にこちゃんマニュアルの確認 | ・すまいるカード確認強化 ・命のリスト(毎日) ・ヒヤリハット集計(月1) ・安全意識チェック(月1) ・SIDS強化 ・散歩先の安全確認 ・嘔吐処理備品確認 | W:2日(木) 分:7(火) |
| 5月 | ・避難訓練 ・警察による不審者対応訓練 | ・熱中症の危険 ・水遊びのルール | ・熱中症について ・虫などの危険 ・蚊(Dengue熱など)・毛虫など ・子どもの見守り方(遊具など) ・普通救命講習 | ・災害伝言ダイヤル 確認呼びかけ (1日・15日) | W:7日(木) 分:12(火) |
| 6月 | ・総合防災訓練 ・普通救命講習 | ・園外活動での蚊 ・虫対策(衣服の安全) | ・蜂の事故について ・水の事故について | ・SIDS強化 ・虫よけの準備 ・熱中症指數掲示 ・防災設備の確認 | W:1日(月) 分:9(火) |
| 7月 | ・避難訓練(キッズリーメール) | | ・童巻について ・すまいるカード確認強化 | W:1日(水) 分:7(火) | |
| 8月 | ・不審者対応訓練 | ・野外調理の安全 | | W:3日(月) 分:18(火) | |
| 9月 | ・避難訓練 | ・慣れない場所での安全 | ・すまいるカード確認強化 | W:1(火) 分:8(日)(火) | |
| 10月 | ・総合防災訓練 ・引き取り訓練 | ・野外調理の安全 | ・大規模災害時のマニュアルの確認・周知 | ・非常食、非常用品確認 | W:1日(木) 分:6(日)(火) |
| 11月 | ・避難訓練 | ・衣服の安全・調節 ・冬ならではの危険 | ・感染症について ・インフルエンザ 嘔吐処理 | ・嘔吐処理備品確認 ・SIDS強化 ・加湿器の管理 | W:2日(月) 分:10日(火) |
| 12月 | ・避難訓練 | ・野外調理の安全 | ・凍結防止のやり方 ・すまいるカード確認強化 | ・凍結防止 | W:1日(火) 分:8(日)(火) |
| 1月 | ・避難訓練 | | | | W:5日(火) 分:12日(火) |
| 2月 | ・避難訓練 | | ・すまいるカード確認強化 | | W:3日(水) 分:8(日)(月) |
| 3月 | ・避難訓練 | | | | W:2日(火) 分:9(日)(火) |

令和2年度 自衛消防訓練計画

高階すまいる保育園

| 月 日 | 種別 | 発生場所 | 時間帯 | 避難場所 | ねらい | 内容 | 指導及び留意点 |
|---------------|---|------------------------------------|----------------|---|--|---|--|
| 4月15日 (水) | 地震 初期消火 年間指導 計画作成 | 関東北部にて震度3程度の揺れ | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場所 | ・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全場所に避難し、保育士の指示に従う ・紙芝居などを用いて避難の意味を知る ・避難訓練の意味、意義を伝える ・緊急時の放送・合図の周知 ・保育士の所に集まる練習 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難ルックの中の点検 ・消火器類の確認、初期消火 ・人数確認・報告 | 【職員の意思統一】 ・非常災害対策責任分担表(火災予防の担当者、自衛消防編成組織表)を理解し、緊急事態発生に備えて確認をする。 ・避難経路・消火器の設置場所・防災頭巾・避難靴・避難用持ち出し袋・避難時に持ち出さなくてはいけないもの・非常食の確認をする。 ・地震、火災時の職員の対応の理解 ・色々な災害発生場所を想定した避難経路の確認をと ・消火器の使い方の確認をする。(総合防災訓練時の水消火器訓練) |
| 5月15日 (金) | 地震 初期消火 | 関東南部にて震度4程度の揺れ | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場所 ↓ 各クラスの出入口まで移動、整列 | ・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・避難口に移動、整列する ・初期消火 | 【火災・地震訓練】 ①生命的の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。 ②保育士自身が落ち込みて避難誘導する。 ③各自の任務を声を掛け合いながら遂行する。 ④火元の確認・火元から遠ざかる。 ⑤日頃より避難経路の確認、確保(荷物等で塞いでしまう事のないように)をする。 ⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。 ⑦日々、避難靴の有無、サイズの確認をする。幼児は靴の履き方、整列の練習を保育の中で行う。 ⑧乳児担任はおんぶの仕方(おんぶ紐の仕方)を練習する。 ⑨日々、避難ルックの中身の確認をする(携帯電話、急救薬品、ティッシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、替え衣、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オンブ紐など) ⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。 ⑪火災の時は窓を閉める。(延焼を防ぐ) 地震の際は出入り口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カードは下ろす。(避難経路の確保。窓ガラスの散乱防止) ⑫地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。 ⑬落下物・転倒防止器具の確認をする。(室内外の整理整頓) ⑭日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。 ⑮個別支援の必要な子どもには保育者が付く。 ⑯避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。(2次災害の防止) |
| 6月15日 (月) | 総合防災訓練 火災 初期消火 | 厨房より出火 | 午前保育中 10:00 | 室内的安全な場所 ↓ 各クラスの出入口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・火災の避難の仕方を 知る ・避難滑り台での避難に 慣れる(3歳、5歳) ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難口に移動、整列する ・園庭への速やかな避難 ・人數確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ・避難用滑り台による避難(3歳、5歳児) ・起震車、煙体験 | 【火災・地震訓練】 ①生命的の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。 ②保育士自身が落ち込みて避難誘導する。 ③各自の任務を声を掛け合いながら遂行する。 ④火元の確認・火元から遠ざかる。 ⑤日頃より避難経路の確認、確保(荷物等で塞いでしまう事のないように)をする。 ⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。 ⑦日々、避難靴の有無、サイズの確認をする。幼児は靴の履き方、整列の練習を保育の中で行う。 ⑧乳児担任はおんぶの仕方(おんぶ紐の仕方)を練習する。 ⑨日々、避難ルックの中身の確認をする(携帯電話、急救薬品、ティッシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、替え衣、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オンブ紐など) ⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。 ⑪火災の時は窓を閉める。(延焼を防ぐ) 地震の際は出入り口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カードは下ろす。(避難経路の確保。窓ガラスの散乱防止) ⑫地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。 ⑬落下物・転倒防止器具の確認をする。(室内外の整理整頓) ⑭日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。 ⑮個別支援の必要な子どもには保育者が付く。 ⑯避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。(2次災害の防止) |
| 7月15日 (水) | 地震 水遊び時の避難 初期消火 | 関東北部にて震度3程度の揺れ | 午前保育中 10:30 | 安全な場所 ↓ 待機 | ・水遊び時の避難方法を 知る ・衣服が濡れた時の状 態を知る(4、5歳児) ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・プール遊び時の避難方法の周知 ・人數確認・報告 ・消火訓練 (着衣訓練…4.5歳児) | 【人數確認・報告】 ・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。 ・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人數の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいるか確認をする。 |
| 8月18日 (火) | 火災 初期消火 | 厨房より出火 | 午後保育中 16:00 | 室内的安全な場所 ↓ 各クラスの出入口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・降園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・園庭への速やかな避難 ・人數確認・報告 ・消火訓練 | 【救命救急講習(予定)】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命救急の方法を理解する。 |
| 9月18日 (金) | 地震 初期消火 | 埼玉南部にて震度4程度の揺れ | 午前保育中 9:15 | 室内的安全な場所 ↓ 各クラスの出入口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 | ・登園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、 安全に避難する | ・室内的安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・落下方物・転倒防止などの確認 ・登園直後、午前おやつ中の避難 ・避難口に移動、整列する ・園庭に避難 ・初期消火 | 【人數確認・報告】 ・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。 ・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人數の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいるか確認をする。 |
| 10月13日 (火) | 総合防災訓練 引取り訓練 地震 広域避難場所へ の避難 初期消火 伝言災害ダイヤ ル体験 | 関東全域に震度6程度 | 午後保育中 15:30 | 室内的安全な場所 ↓ 各クラスの出入口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 ↓ 広域避難場所へ移動 | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・広域避難場所において、落ち込みて過ごす | ・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人數確認・報告 ・落下方物・転倒防止などの確認 ☆降園時…引取り訓練実施 伝言災害ダイヤル | 【救命救急講習(予定)】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命救急の方法を理解する。 |
| 11月 予告なし | 地震 初期消火 水害 | 関東北部で直下型地震発生 震度7程度 伊佐沼の氾濫を想定 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・浸水を想定して避難場所までの移動をシミュレーションする | ・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難経路の確認 ・人數確認・報告 ・消火訓練、初期消火 ・広域避難場所までの避難、誘導 ・園からの持ち出し物資の確認 ・洪水時の避難確保に切替える | 【消防訓練(初期消火)】 ・まずは身の安全の確保をする。 ・消火器の使い方を知る。 ・火元の確認・把握をする。 ・初期消火に向かう際は、必ず大声で周りに状況を伝え、応援を求める。 ・ポンは火元から5m程の距離にて抜くようとする。(力が入ってしまい、一度レバーを握ってしまうと、消火液が止まらなくなるため) ・火元の手前から徐々に近づいていく。 |
| 12月 予告なし | 火災 初期消火 | 月組より出火 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する | ・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【引き取り訓練】 ・防災頭巾・上履きを着用する。(訓練時)普段の訓練時も着用。 ・引き取り時、保護者の確認をして、子どもを渡す。(必ず「すまいるカード」の確認をする) |
| 1月 予告なし | 地震 初期消火 | 埼玉県北部で震度4程度 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難経路の確認 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【広域避難場所までの避難】 ・農業触れ合いセンターまで避難方法の周知。 ・子どもの安全な誘導、職員の連携を取る。 ・園からの持ち出し物資の確認をすることで、再度何を持ち出したらよいのか検討する。 |
| 2月 予告なし | 火災 初期消火 | 虹組より出火 | 時間未設定 | 放送の指示による | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【時間未設定での避難訓練】 ・通常保育の中で、放送に指示に従い避難する。 ・訓練時間、避難場所、避難方法に関しては、未設定とする。 |
| 3月 予告なし | 地震 初期消火 水害 | 埼玉県南部で震度5程度 入間川、荒川の氾濫を想定 | 時間未設定 | 放送の指示による 注意体制確立 警戒態勢確立 非常態勢確立 | ・保育士の指示に従い、 安全に避難する | ・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人數の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人數確認・報告 ・初期消火 | 【水害訓練】 ・浸水を想定した避難訓練を行う。 ・避難経路の確認。 ・避難場所(川越高校・川越総合高校)までの移動および手段の確認。 ・避難確保賃器材の確認。 ・情報伝達訓練。 |